

TEPRA

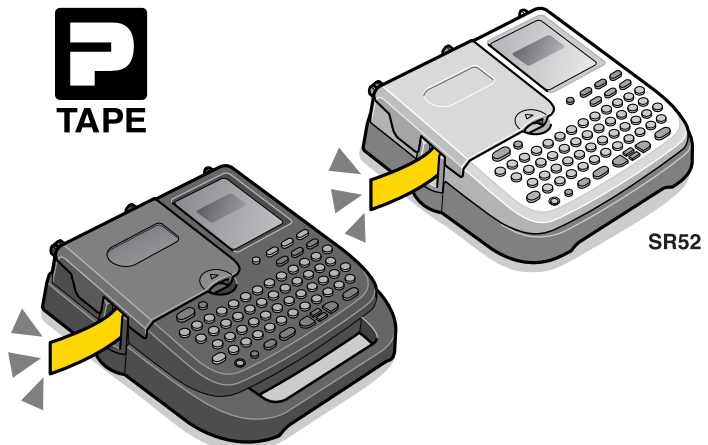
PRO

SR220/SR52

取扱説明書



TAPE



SR220

SR52



KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テブラ」PRO SR220/SR52をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テブラ」PRO SR220/SR52の共通の取扱説明書で、SR220/SR52の使いかたを、「準備編」「使いかた編1・2」「機能編」「活用編」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。なお、SR220/SR52の操作方法は同じです。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。いつもお手元においてご利用ください。

「テブラ」PRO SR220/SR52を本書とともに未永くご愛用いただきますよう、心からお願い申し上げます。

本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 「テブラ」で得られるラベルについて
塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。
なお、これらによって、生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。




「キングジム」、KING JIM、「テブラ」、「テブラ」PRO、Pテープマークはいずれも株式会社キングジムの商標です。

●安全上のご注意…必ずお守りください！




お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合を、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	● 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

ACアダプタについて



同梱の専用ACアダプタ(AC0615J)以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。



警告

電池の取り扱いについて



電池の⊕と⊖を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池のアルカリ液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。



長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。



電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



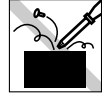
⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



⚠ 注意

電池の取り扱いについて



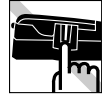
電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



オートカッターについて



印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをすることがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テブラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジの取扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解しないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。



テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンが必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース(再利用)について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。使用済みの「テプラ」テープカートリッジはお近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。なお、「エコマーク商品」(ラベルにエコマークが表示されているテープカートリッジ)については、当社にてリユース(再利用)をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、お近くの「テプラ」取扱店の「回収BOX」までお持ちください。



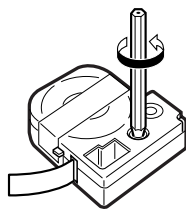
テープカートリッジをセットするときの注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンの「たるみ」をとる

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて「たるみ」をとってください。

インクリボンに「たるみ」があると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破けるなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



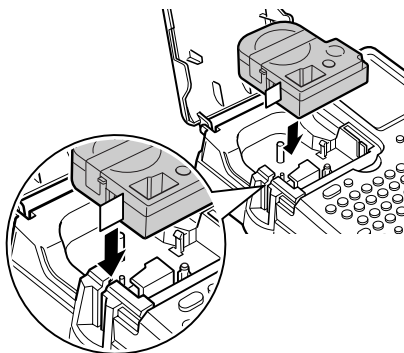
■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジやテープの先端が長めに出ているテープカートリッジを本機にセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出すなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする (シフト) + (印刷)

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンに「たるみ」が発生します。その「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照 P.31 「5.テープ送りをする」

その他のご注意

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- テープカートリッジは、必ずPテープマークのついた専用のテープカートリッジをご使用ください。点字テープカートリッジ(DL規格)は、お使いになれません。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに **印刷** を押すことはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず **シフト** + **印刷** (=送り/カット)でおこなってください。無理に手で引っ張ることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープをハサミで切るときに指をささないように注意してください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、今まで登録したファイルなど、データや学習内容が消去されることがあります。
- 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

●本書の使いかた

本書の構成

本書は「テブラ」PRO SR220/SR52の共通の取扱説明書です。
イラストはSR220を使用しておりますが、SR220/SR52の操作方法は同じです。
本書は次の構成になっています。

準備編

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

使いかた編

「使いかた編」には1・2があります。「使いかた編1」では、文字の入力からラベルの貼り付けまでの基本操作を説明しています。

「使いかた編2」では、段落の追加などテキスト画面での操作を説明しています。初めて「テブラ」PROシリーズをお使いになる方は、「使いかた編1」から順を追って読まれることをお奨めします。

機能編


ラベルの見栄えをよくする書式やスタイルやモードなどの機能について説明しています。

活用編

本機をさらに使いこなしていただくための操作を説明しています。「使いかた編」の内容を十分に理解されたうえでお読みください。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【 表記 】	【 説明 】
① 、 ②	操作の手順を示しています。
(M) 、 (O)	文字ボタンを示しています。
書式 、 スタイル 、 モード	機能ボタンを示しています。
← 、 ↑ 、 ↓ 、 →	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照 	関連する事項の参照ページを案内します。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!! 注意 !!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について：本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

- 安全上のご注意…必ずお守りください！ 1
 - テープカートリッジの取扱いについての
ご注意 4
 - テープカートリッジをセットするときの
ご注意 5
 - その他のご注意 6
- 本書の使いかた 7
 - 本書の構成 7
 - 本書の見かた 7
- 目次 8
- 同梱品の確認 10
- 別売品のご案内 11
- 「テブラ」PRO SR220/SR52 の特長 12
- まず、使ってみよう…
 - すぐ使いたい人のために 13
 - 1. 準備 13
 - 2. 電源を入れる 13
 - 3. テープ送りをする 13
 - 4. 文字を入力する(例:伊藤) 14
 - 5. 文字の大きさ(文字サイズ)を
変えてみよう 15
 - 6. たて書きにしてみよう 16
 - 7. 印刷する 16
 - 8. ラベルを貼る 17
 - 9. 電源を切る 17

準備編

- 各部の名前とはたらき 20
 - 本機各部の名前(表) 20
 - 本機各部の名前(内部) 21
 - 本機各部の名前(裏) 21
 - 操作パネルの名前とはたらき 22
- ディスプレイの見かたとはたらき 24
 - ディスプレイ(画面)の見かた 24
- 使う前の準備 26
 - 1. ACアダプタを接続する 26
 - 2. 電池(別売)を入れて使用するときは 26
 - 3. テープカートリッジをセットする 28
 - 4. 電源を入れる 30
 - 5. テープ送りをする 31

使いかた編 1

- 手順どおりに作ってみよう
(文字入力～ラベルの完成まで) 34
 - 1. ひらがな・カタカナを入力する 35
 - 2. 「!」などを入力する 36
 - 3. 漢字を入力する 37
 - 4. 英数字を入力する 39
 - 5. スペースを入力する 40
 - 6. 記号を入力する 41
 - 7. 印刷イメージを確認する
(プレビュー) 43
 - 8. 印刷する 44
 - 9. ラベルを貼る 45
- 使い終わったら〈電源を切る〉 46

使いかた編 2

- 文章を作る 48
 - カーソルボタンの使いかた 48
 - 文章を入力する 48
 - 文字を削除/挿入する 49
 - すべての文章を消去する 49
- 行を増やす(改行) 50
 - 新しい行を作る 50
 - 文字を次行に移動する 51
 - 改行を取り消す 51
- 段落を増やす(改段落) 52
 - 新しい段落を作る 53
 - 段落を分割する 53
 - 特定の段落を消去する 54

機能編

- ラベルの向きを変える(縦・横) 56
 - [縦・横]ボタンを使う 56
- ラベルの見栄えをよくする
～装飾機能を使おう～ 58
 - 機能を指定する 59
- 文章書式のメニュー一覧 61
- 段落スタイルのメニュー一覧 62
- 文字モードのメニュー一覧 64
 - 機能の説明(文章書式) 65
 - 機能の説明(段落スタイル) 67
 - 機能の説明(文字モード) 70

活用編

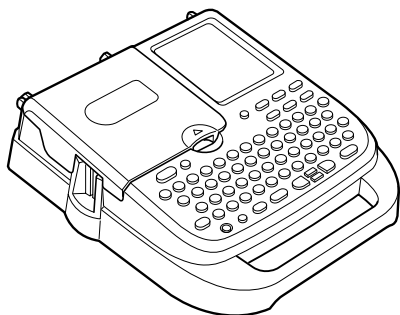
- 文章を呼び出す・登録する 74
 - ファイルに登録する 75
 - ファイルを呼び出す 76
 - ファイルを消去する 76
- 読みのわからない漢字を入力する
(コード入力) 77
- 環境設定を変更する 78
 - 環境設定メニュー一覧 78
- ディスプレイの濃度を調整する 79
- 印刷濃度を調整する 79
- 「自動カット」を設定する 80
 - 「自動カットしない」にする 80
- 各種の初期値（保存値）を設定する 81
 - 保存値を変更する 82
 - 保存値を初期設定値に戻す 82
- 本機を初期化する 83
 - 初期化する 84
- デモ印刷をする 85

付録

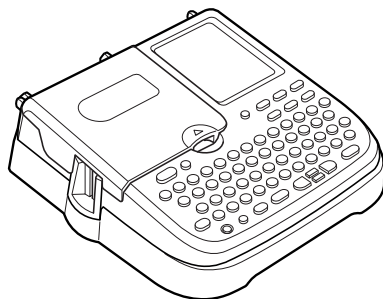
- テープカートリッジを使いわける 88
- こんな表示が出たときは 89
 - ディスプレイが消えたときは 89
 - エラーメッセージが表示されたときは 89
- 故障かな？と思ったら 91
- お手入れについて 94
 - ヘッド・クリーニングテープ(別売)
を使う 95
- 入力文字一覧表 96
 - 文字ボタン配列 96
 - 入力文字表 96
- 漢字変換表 97
 - JIS第1水準 97
 - JIS第2水準 101
 - その他 102
- 記号一覧表 103
- 外枠・表組み一覧表 107
- ローマ字変換表 108
- おもな仕様 109
- 索引 111
- アフターサービスについて 116

●同梱品の確認

同梱品がすべてそろっているか、確認してください。

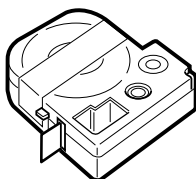


SR220

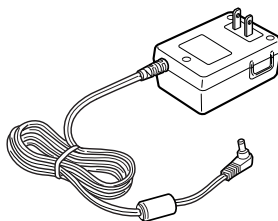


SR52

「テブラ」PRO本体



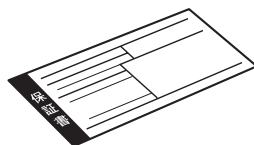
試用PROテープカートリッジ
(12mm幅)



ACアダプタ (AC0615J)



SR220/SR52取扱説明書(本書)



保証書

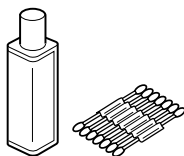
(箱の側面に添付)

MEMO

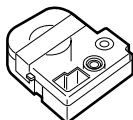
本機には、電池は同梱しておりません。
単3形アルカリ乾電池(6本)をお買い求めください。

●別売品のご案内

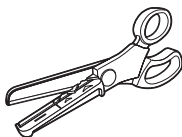
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



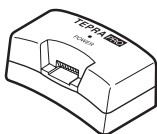
ヘッド・クリーニングキット(RC15)
印刷ヘッド専用クリーニング液です。



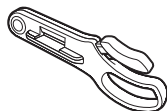
ヘッド・クリーニングテープ(SR18C)
テプラ本体のヘッドクリーニング用のテープです。



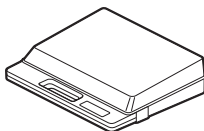
トリマー(RT36W)
ラベルのカドを丸くカットし、ラベルをはがれにくく、見た目にも美しく仕上げるハサミ型トリマーです。4～36mm幅のラベルの「カド丸」加工が可能です。ラベルの前後余白調整にも便利です。
※本機の対応ラベルは4～18mm幅です。



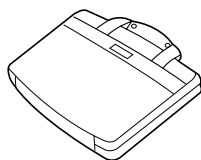
オートトリマー(RTA24)
9mm～18mm幅のラベルを差し込むだけで、自動的にきれいな「カド丸」に仕上げることができます。はがれに強い、きれいなラベルになります。
※4mm幅、6mm幅のテープには対応していません。



ハーフカッター(RH24)
ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくします。



システムトランク(SR9BTN)
耐衝撃性に優れたトランクです。「テプラ」PRO 本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムバッグ(SR8B)
「テプラ」PRO 本体とテープカートリッジ、取扱説明書などが収納可能です。ウレタン・ボンディング・ナイロンを使用しており、クッション性に優れています。

MEMO

詳細については、当社ホームページ(アドレス <http://www.kingjim.co.jp/>)をご覧くださいか、またはお買い上げ販売店、「テプラ」取扱店、当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照 P.116 「アフターサービスについて」

●「テプラ」PRO SR220/SR52の特長

■6文字×2行の液晶表示

6文字×2行の液晶画面で、2行印刷も見やすく表示。ラベルの作成がスムーズにできます。また、印刷イメージの確認が見やすくなりました。

■PROテープ4～18mm幅のテープに対応!

様々な用途に適したテープも充実。名前付けに便利な極細4mmテープから、ビデオテープのタイトルラベルに最適な18mm幅テープまで、豊富な種類のPROテープカートリッジに対応しています。

※12mm幅テープと18mm幅テープに印刷できる最大文字サイズは同じです。

■オートカッターで手間いらず!

オートカッター搭載なので、印刷後のカット操作が不要です。

※一部対応できないテープがあります。

■一発!簡単!「縦・横」ボタン

ファイルやアルバムの背表紙などによく使われる「たて書き」ラベルへの切り換えも、ワンタッチでできます。

■見やすく楽しい書体を搭載!漢字2書体+かな3書体+英数3書体

「明朝体」「ゴシック体」の基本書体に加え、かな書体専用の「ハッピー体(まる文字)」、英数書体専用の「BR体」も搭載。表現豊かなラベル作りを演出します。

■多行組み印刷機能を搭載

最大4行2段落の多行組み印刷機能を搭載しました。豊かなラベルデザインが可能です。

■地紋印刷機能を搭載

7種類の地紋デザインを搭載。作成したラベルの背景として、印刷することが可能です。

■2桁数字搭載

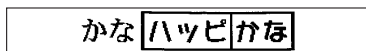
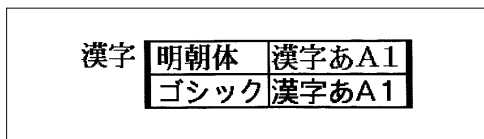
「たて書き」のラベルで日付や住所などに2桁数字を使用すると、綺麗に揃った印刷が可能です。

■豊富な記号・外枠・表組み

数字や単位など実用的な記号や、荷物、環境、警告用などオフィスや家庭で活用できる便利な絵文字が満載。ラベルを演出する外枠は75種類・表組み4種類を搭載しています。

■「似顔絵機能」搭載

輪郭と表情を組み合わせて似顔絵を作る「似顔絵機能」を搭載。オリジナルの顔記号で、ラベルの用途が広がります。



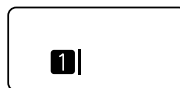
●まず、使ってみよう…すぐ使いたい人のために

1. 準備

- ① ACアダプタを本機に接続する
参照 P.26 「1.ACアダプタを接続する」
- ② テープカートリッジをセットする
参照 P.28 「3.テープカートリッジをセットする」

2. 電源を入れる

- ① **ON/OFF** を押す
タイトルが表示され、設定されている入力状態が表示されたあと、行頭マーク **1** とカーソルが表示されます。



MEMO

より詳しい説明については、P.30 「4.電源を入れる」を参照してください。

3. テープ送りをする

- ① テープ送りをする
シフト を押しながら **印刷** を押し、表示されるメニューから「送りカット」または「テープ送り」を選び **選択実行** を押します。
参照 P.31 「5.テープ送りをする」



MEMO

必ず「テープ送り」を！

テープカートリッジセット後は、テープ、インクリボンのたるみをとるために、必ず「テープ送り」をおこなってください。

4. 文字を入力する(例：伊藤)

① を押して、「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ

ローマ字入力


② 文字ボタンを次のように押す

「ローマ字入力」の場合：


「かな入力」の場合：

「いとう」と表示されます。入力後のひらがなはネガ表示されています。

1 いとう

③ 「伊藤」が表示されるまで を押す

いとう
伊藤

④ を押す

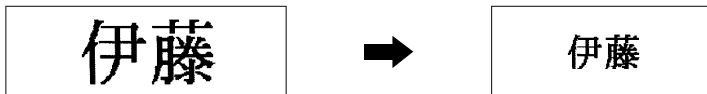
「伊藤」が確定します。

1 伊藤 |

MEMO

より詳しい説明については、P.34「手順どおりに作ってみよう」を参照してください。

5. 文字の大きさ(文字サイズ)を変えてみよう



① **スタイル** を押す

段落スタイルメニューが表示されます。

段落スタイル
文字サイズ

② **↑** **↓** で「文字サイズ」を選び **選択改行** を押す

段落スタイル
文字サイズ

③ **↑** **↓** で「1行」を選び **選択改行** を押す

文字サイズ
1行

④ **↑** **↓** で「**□□** 中1c」を選び **選択改行** を押す

1行
□□ 中 1c

⑤ **↑** **↓** で「終わり?」を選び **選択改行** を押す

段落スタイル
終わり?

⑥ **↑** **↓** で「この文章」を選び **選択改行** を押す

有効範囲は?
この文章

文字の大きさが変更されます。

1 伊藤 |

MEMO

より詳しい説明については、P.58 「ラベルの見栄えをよくする」を参照してください。

6. たて書きにしてみよう

伊藤



伊藤

1 を押す

「たて書き」と表示され、文字がたて書きのラベルになります。

たて書きインジケータが点灯します。

参照 P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」

たて書き

1 伊藤 |

MEMO

より詳しい説明については、P.56 「ラベルの向きを変える(縦・横)」を参照してください。

7. 印刷する

1 を押す

印刷のイメージが流れるように表示されます(プレビュー)。

x.x
cm

伊藤

2 を押す

画面に、印刷されるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷がはじまります。印刷が終了すると、テープが自動カットされて出てきます。


テープは絶対に手で引っ張らないでください。

長さ x.xcm
1枚

MEMO

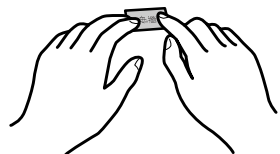
より詳しい説明については、P.44 「8.印刷する」を参照してください。

8. ラベルを貼る


- 1 ラベルの裏紙をはがす
参照  P.45 「9.ラベルを貼る」




- 2 しっかりとこすって貼り付ける

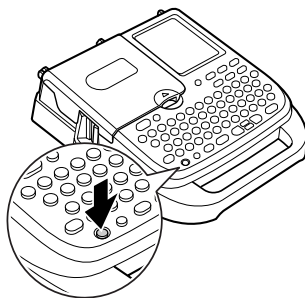


MEMO

「テブラ」PROテープには接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。
参照  P.88 「テープカートリッジを使いわける」

9. 電源を切る

- 1  を押す
- 2 ACアダプタ(AC0615J)をはずす



MEMO

より詳しい説明については、P.46「使い終わったら〈電源を切る〉」を参照してください。

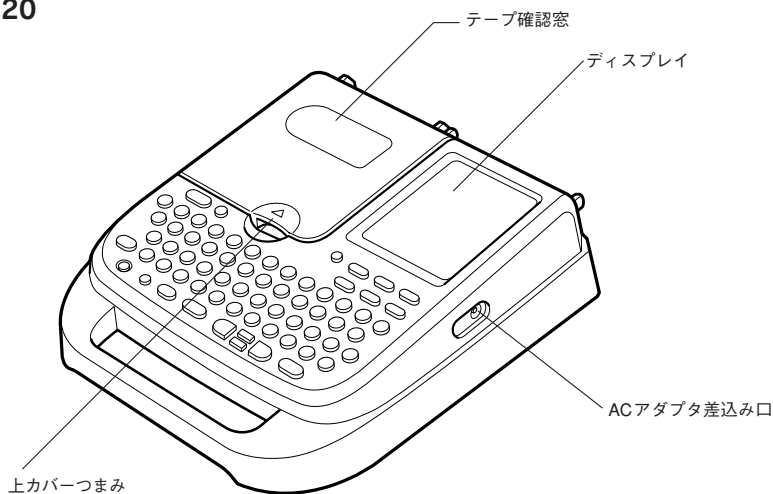
準備編

本機にACアダプタを接続し、電源を入れます。
本機をはじめてお使いの方は、ここからお読みください。

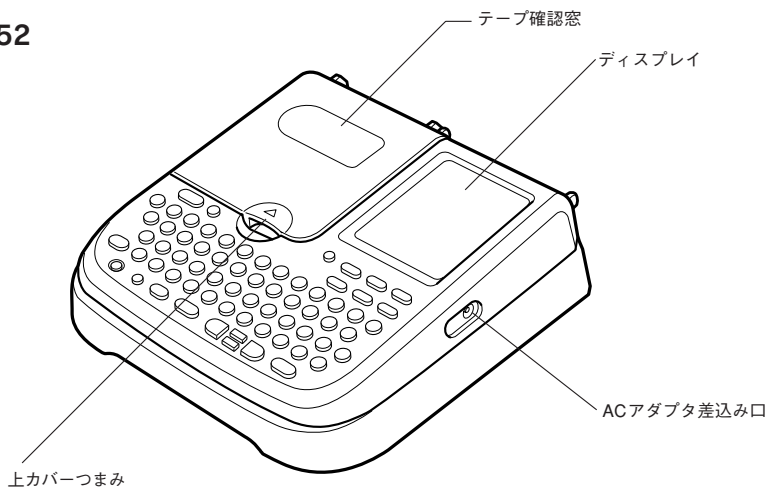
●各部の名前とはたらき

本機各部の名前(表)

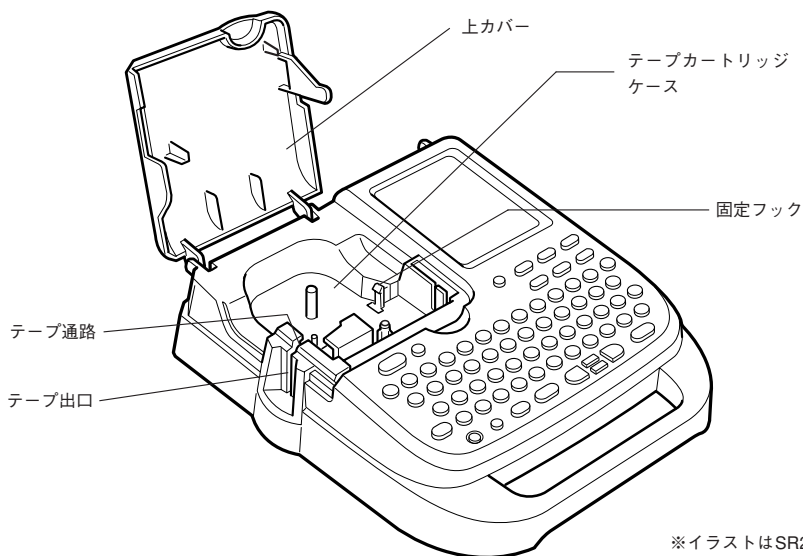
SR220



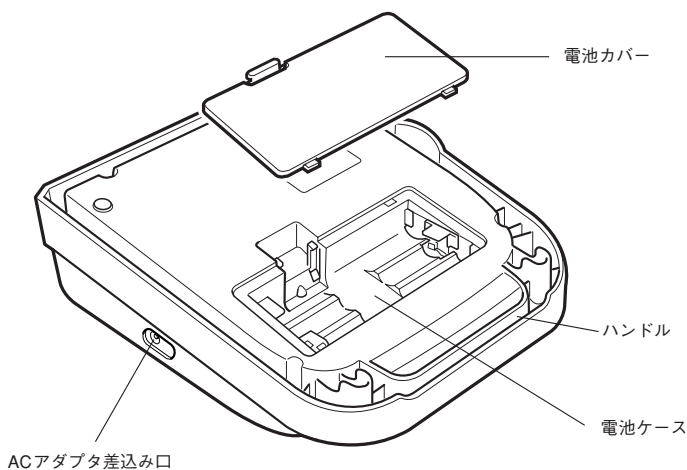
SR52



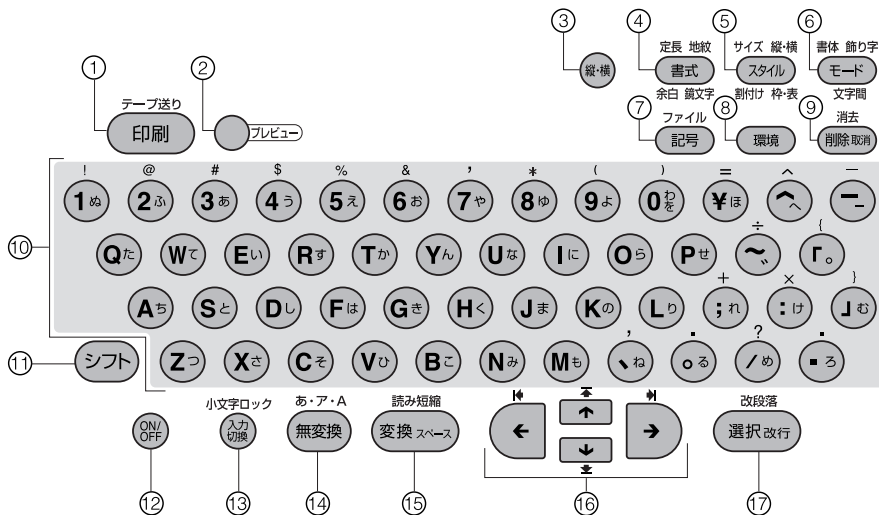
本機各部の名前(内部)



本機各部の名前(裏)



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。**シフト**+**●**となっている表記は、**シフト**を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① **印刷** (印刷)

入力した文章をテープに印刷し、テープを自動的にカット(オートカット)します。

参照 P.44

シフト+**印刷** (=送り/カット)

テープを約18mm空送りしたり、カットします。

参照 P.31

② **プレビュー** (プレビュー)

印刷イメージ全体を流れるように表示して確認することができます。

参照 P.43

③ **縦・横** (縦・横)

たて書き/よこ書きを切り換えます。

参照 P.56

④ **書式** (文章書式)

印刷時のラベルの長さ、地紋、余白、鏡文字を指定します。これらを「文章書式」と呼びます。

参照 P.61

⑤ **スタイル** (段落スタイル)

文字サイズ、縦・横、割付け、外枠・表組を指定します。これらを「段落スタイル」と呼びます。

参照 P.62

⑥ **モード** (文字モード)

書体、飾り字や文字間を指定します。これらを「文字モード」と呼びます。

参照 P.64

⑦ **記号** (記号)

記号の入力をおこないます。

参照 P.41

シフト+**記号** (=ファイル)

作成した文章を登録・呼出・消去します。

参照 P.74

⑧ **環境** (環境設定)

画面の表示濃度や印刷の濃度、自動カットの有無、各種保存値を変更します。

参照 P.78

⑨ **削除取消** (削除、取消)

カーソル位置(カーソルの左側)の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されず。

参照 P.49

シフト+**削除取消** (=消去)

段落や文章を消去します。

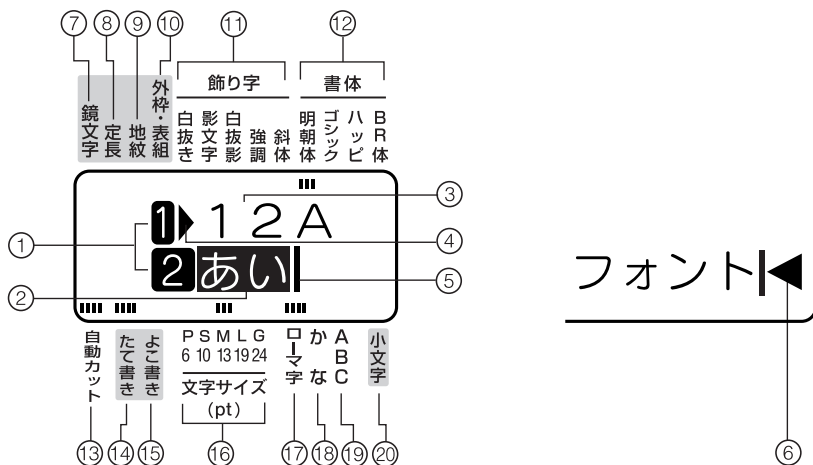
参照 P.49、54

- ⑩ **文字ボタン** (T, E, P, R, A など)
文字を入力します。
参照 P.35
- ⑪ **シフト** (シフト)
機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能が働きます。文字ボタンと一緒に押すと、小文字や英記号などを入力できます。
- ⑫ **ON/OFF** (ON/OFF)
電源を ON/OFF します。
参照 P.30
- ⑬ **入力切換** (入力切換)
入力状態を「ローマ字→かな→ABC」の順で切り換えます。
参照 P.35
「ABC入力」時のみ
シフト + (入力切換) (=小文字ロック)
小文字入力状態に切り換えます。
参照 P.39
- ⑭ **無変換** (無変換)
ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
参照 P.35
漢字変換や機能選択は、1つ前の選択肢を表示します。
参照 P.37
シフト + 無変換 (=文字変換/コード変換)
ネガ表示のひらがなを、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「かな入力」時は、押すたびに「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。ネガ文字がないときは、コード入力の画面になり、区点コードを入力すれば漢字に変換できます。
参照 P.77
- ⑮ **変換スペース** (漢字変換、スペース入力)
ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ表示の文字がないときは、スペースを入力します。漢字変換時は、次の変換候補を表示します。
参照 P.37、40
シフト + 変換スペース (=読み短縮)
漢字変換中、変換対象となる「読み」を短縮します。
参照 P.38
- ⑯ **カーソルボタン** (カーソルボタン)
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照 P.48
シフト + (カーソルボタン) (=カーソルジャンプ)
カーソルを段落先頭、段落末尾、行頭、行末に移動します。機能選択時は、先頭候補、最終候補を表示します。
参照 P.48
- ⑰ **選択改行** (選択、改行)
機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ表示の文字がないときは、新しい行を作ります(改行)。
参照 P.35、50
シフト + 選択改行 (=改段落)
新しい段落を作ります。
参照 P.53

●ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ(画面)の見かた

〈テキスト画面〉



① 行頭マーク(1 2...☒)

行頭に表示され、その行が何行目かを表示します。**1**、**2**は印刷できる行を表しています。**☒**は印刷できない行を表しています。このマークが表示されているときは、印刷できません。

参照 P.50

② ネガ文字(例: あい)

仮確定の文字でネガ表示されます。**変換**ボタンで漢字に、**無変換**ボタンでひらがな、カタカナ、英字に変換できます。ネガ文字は印刷されません。

③ 確定文字(例: 12A)

入力が確定した文字で、印刷することができます。

④ 文字モード指定マーク(▶)

行、段落単位で、書体、飾り字などの文字モードを変更すると表示されます。

参照 P.60

⑤ カーソル(|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除することができます。

参照 P.48

⑥ フルメモリーマーク(◀)

入力可能文字数(約90文字)をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

⑦ 鏡文字インジケーター

鏡文字印刷が設定されているときに点灯します。

⑧ 定長インジケーター

定長印刷が指定されているときに点灯します。

⑨ 地紋インジケーター

地紋印刷が指定されているときに点灯します。

⑩ 外枠・表組インジケーター

外枠・表組が指定されているときに点灯します。

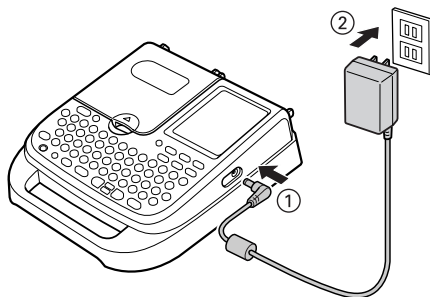
- ⑪ **飾り字インジケータ**
カーソル位置の行に飾り字が指定されているときに点灯します。
- ⑫ **書体インジケータ**
カーソル位置の行に対応した書体が点灯します。
- ⑬ **自動カットインジケータ**
自動カットが「する」に指定されているときに点灯します。
- ⑭ **たて書きインジケータ**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑮ **よこ書きインジケータ**
「よこ書き」が指定されているときに点灯します。
- ⑯ **文字サイズインジケータ**
カーソル位置の行のサイズに対応したインジケータが点灯します。
数字はポイント数を表しています。
*1ptは約1/72インチ(約0.35mm)です。
- ⑰ **ローマ字入力インジケータ**
「ローマ字入力」状態のときに点灯します。
- ⑱ **かな入力インジケータ**
「かな入力」状態のときに点灯します。
- ⑲ **ABC入力インジケータ**
「ABC入力」状態のときに点灯します。
- ⑳ **小文字入力インジケータ**
シフトボタンを押しているときや、小文字入力状態のときに点灯します。
参照 P.39

●使う前の準備

1. ACアダプタを接続する

同梱のACアダプタ(AC0615J)で、家庭用コンセント(AC100V)から電源を取ります。

- 1 ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



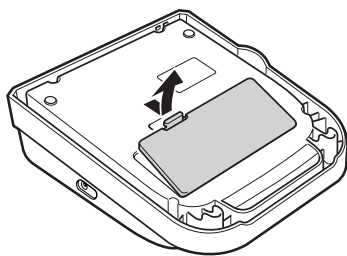
!! 注意 !!

- 使い終わったらすぐにACアダプタを本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池(別売)を入れて使用するとき

本機に単3形アルカリ乾電池6本(別売)をセットします。電池は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。また、外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷することもできます。

- 1 電池カバーをはずす
レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

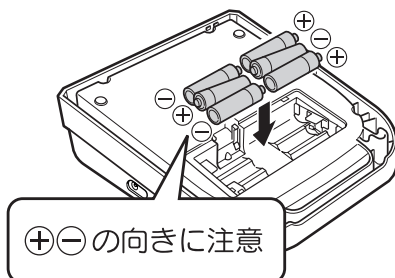


!! 注意 !!

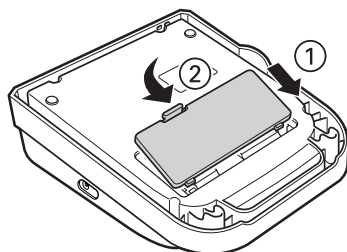
必ず、電源を切ってからおこなってください。

2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3形アルカリ乾電池6本を入れます。

**3** 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のミゾに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりカバーをはめます。

**!! 注意 !!**

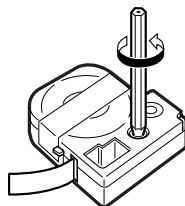
- 本機には単3形アルカリ乾電池をお使いください。その他の乾電池を使用したときは、乾電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。
- 本機にセットする電池(別売)は、登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときに電源とすることができます。電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ(AC0615J)をお使いください。
- 電池交換は必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。また、本機から電池をはずし、約4分以上放置すると、データがすべて失われることがあります。
- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を本機に正しくセットして使用・保管することをおすすめします。

MEMO

- 電池が消耗すると「電池を交換!」と表示されます。直ちにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池(6本)に交換するか、ACアダプタ(AC0615J)をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。
- 新品の単3形アルカリ乾電池(6本)では、常温で18mm幅のテープカートリッジ(8m)を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、幅広テープに大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。できるだけACアダプタをお使いください。ACアダプタを使用する際は、必ず専用のACアダプタ(AC0615J)をお使いください。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池を捨てるときは、定められた条例に従って廃棄してください。

3. テープカートリッジをセットする

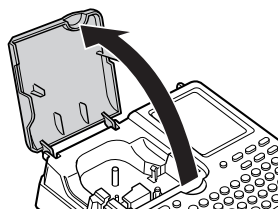
- 1 インクリボンの「たるみ」を取る**
 セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」をとってください。



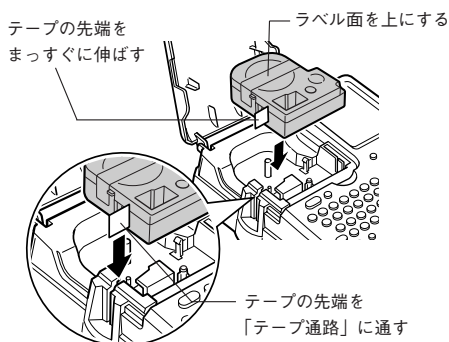
- 2 上カバーを開ける**
 上カバーのつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。

!! 注意 !!

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。



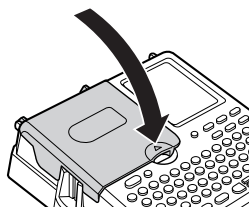
- 3 テープカートリッジをセットする**
 セットするテープカートリッジを、ラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機のフックにテープカートリッジが固定されます。
 テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。



- 4 上カバーを閉じる**
 上カバーを指で軽く押しつけてしっかり閉じます。

!! 注意 !!

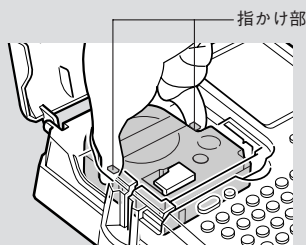
- テープカートリッジをしっかりと押し込まずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーはしっかりと閉じてください。



MEMO

テープカートリッジの取り出しかた

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。



!! 注意 !!

- テープカートリッジをしっかりと押し込まずにカバーを閉めると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- 上カバーを外したままご使用にならないでください。
- 本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mmの5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。

参照 P.50 「テープ幅と印刷できる行数」

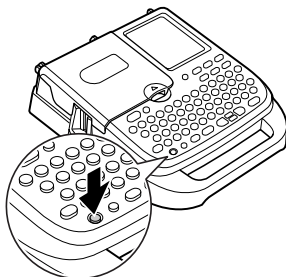
- テープカートリッジは、直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- テープカートリッジは奥までしっかりセットしてください。
- 12mm幅テープと18mm幅テープでは印刷される最大文字サイズは同じです。
- テープカートリッジを交換するときは、電源を切ってからおこなってください。
- 本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合は、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

4. 電源を入れる

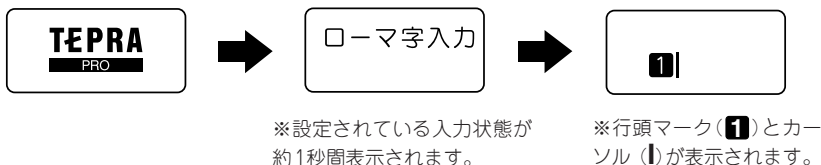
電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- 電池は正しくセットされていますか？(電池で使用する場合)

①  を押す



電源が入るとタイトル画面が表示されます。




すでに文章が入力されているときは、タイトル画面のあとに文章が表示され、指定されている機能のインジケータが点灯します。

参照  P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます(電源が切れても入力した文章はなくなりません)。 をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

使わないときはこまめに電源を切ると、オート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

- ① **シフト** を押しながら **印刷** (=送り/カット) を押す
「送り/カット」メニューが表示されます。

送り/カット
送りカット

- ② **↑** **↓** で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

- ③ **選択実行** を押す
「テープ送り」の場合はテープが約18mm空送りされます。
「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

つづいて

ラベルを作る準備が整いました。それでは、実際にラベルを作ってみましょう。

参照  P.34 「手順どおりに作ってみよう」

使いかた編 1

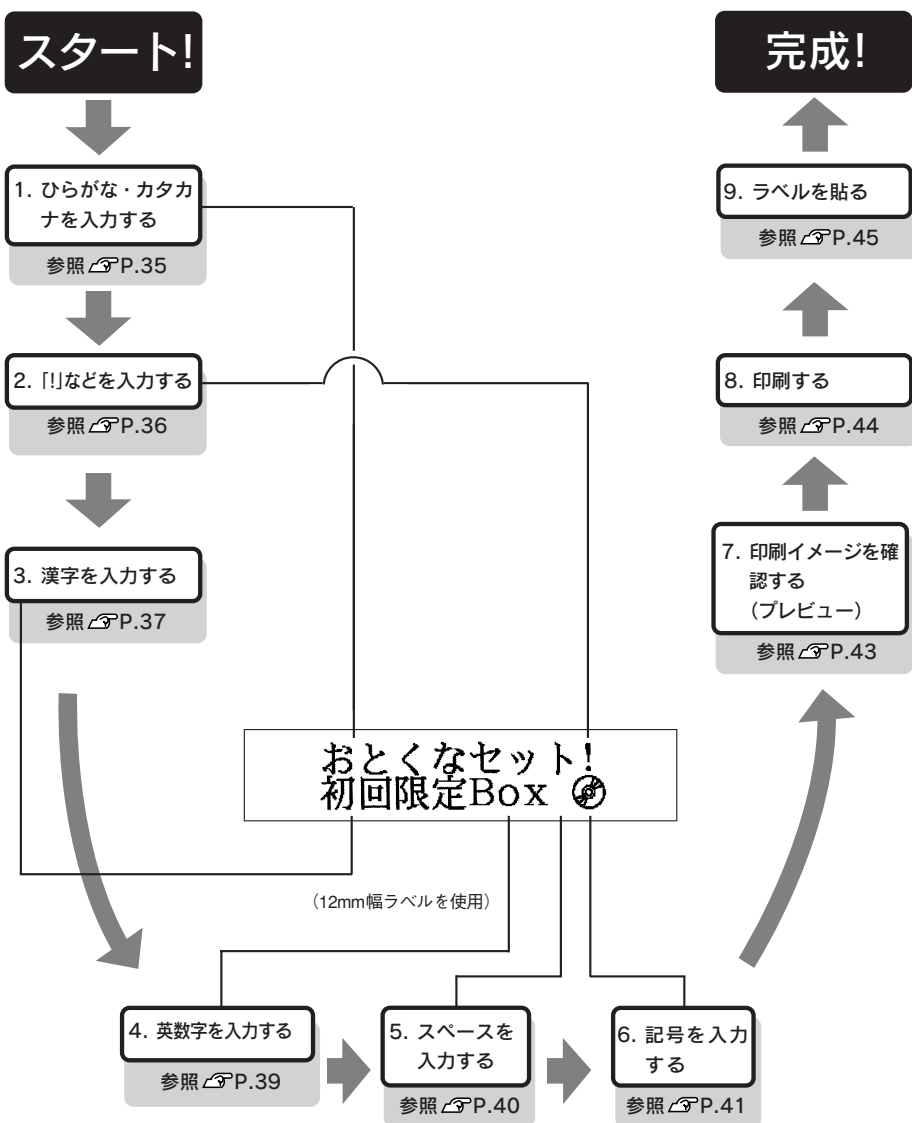
～簡単なラベルを作ろう～

最初に簡単なラベルを作ってみましょう。
文字入力、印刷など「テプラ」の基本操作を確認してください。


●手順どおりに作ってみよう(文字入力～ラベルの完成まで)

以下のサンプルラベルを、手順どおりに作ると基本的な操作がカンタンに覚えられます。

使いかた編 1



本機の準備ができたなら、まずサンプルラベルを作って基本的な操作を覚えましょう。

■ それではスタート! 

1. ひらがな・カタカナを入力する

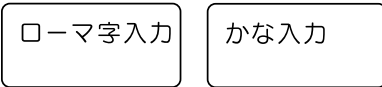
読みを入力してから(無変換)を1回押すとひらがなに、(無変換)を2回押すとカタカナになります。

例：

ここを入力します

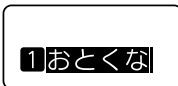
おとくなセット!
初回限定Box

- ① (入力切換)を数回押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選ぶ



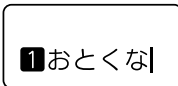
- ② 「おとくな」を入力する

ローマ字入力：(O) (T) (O) (K) (U) (N) (A)
かな入力：(お) (と) (く) (な)



「おとくな」がネガ表示されます。

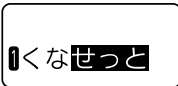
- ③ (無変換)を押し、(選択改行)で確定する



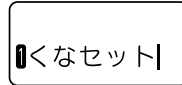
「おとくな」が確定します。

- ④ 「せっと」を入力する

ローマ字入力：(S) (E) (T) (T) (O)
かな入力：(せ) (と) (と) (と)
 (シフト) (シフト) (シフト)



- ⑤ (無変換)を2回押し、(選択改行)で確定する



「セット」が確定します。

MEMO

- ローマ字入力で「読み」を入力した直後に(無変換)を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。「かな入力」の場合は、「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。また、(シフト)を押しながら(無変換)を押すと、「ローマ字入力」時は、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に、「かな入力」時は、「カタカナ→ひらがな」の順に変換します。変換後は(選択改行)を押して確定します。
- 文字を間違えたときは、(削除取消)ボタンで文字を消して、正しい文字を入力しなおしてください。
- 無変換やカタカナ変換・アルファベット変換は、カーソル位置までのネガ文字に対して有効です。カーソル位置より後ろのネガ文字は、変換できません。
- 無変換やカタカナ変換・アルファベット変換を確定する最後の(選択改行)ボタンは省略できます。変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字は自動的に確定します。
- (無変換)ボタンを省略し、(選択改行)だけを押しすとネガ文字をひらがなに確定することができます。
- 「読み」を入力した直後に(選択改行)を押すと、ひらがなのまま確定します。
- ローマ字入力のスペルは、ローマ字変換表を参考にしてください。
参照 P.108 「ローマ字変換表」

特殊なひらがな・カタカナの入力方法

- かな入力の場合
「を・ヲ」…(シフト)を押しながら(を)を押す

参考

濁音や拗音の入力について

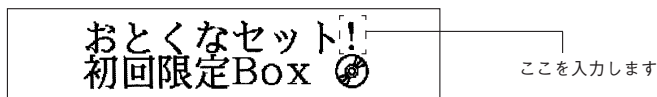
濁音や拗音は、入力方法によって異なります。

	濁音(「ざ」「ば」など) 半濁音(「ぱ」など)	拗音(「ゃ」「ぁ」など) 促音(「っ')
ローマ字 入力	濁音・半濁音用のスペルで入力 します。 参照 P.108 「ローマ字変換 表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> シフトを押しながら文字ボタンを押す。 「きゃ」(K^Y Y^A A^U)などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照 P.108 「ローマ字変換表」 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例: S^A A^S K^O K^O A^S … 「さっか」 L^Sを押してから通常の文字ボタンを押す。 例: L^S T^R J^S … 「っ」 L^S A^S … 「ぁ」
かな入力	仮確定の清音の後に、 や を入力します。	を押しながら文字ボタンを押します。

2. 「!!」 などを入力する

操作パネルに表記された表記号「!!」「*」「.」などは、 を押しながら該当する文字ボタンを押して入力します。

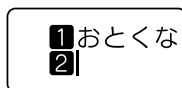
例：



1 を数回押して「ローマ字入力」または「ABC入力」を選ぶ

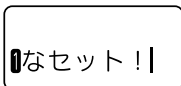


3 を押して改行する



2 「!!」 を入力する

を押しながら を押します。
「!!」 が確定された状態で入力されます。



MEMO

文字ボタンに表記された数字や英記号「¥」「~」「/」は、「ローマ字入力」または「ABC入力」であれば、文字ボタンを押して入力できます。「かな入力」の状態では入力できない文字があるので、その場合は「ローマ字入力」または「ABC入力」に切り換えてください。

3. 漢字を入力する

「読み」を入力したあと、**変換スペース**を押すと漢字に変換できます。

例：

ここを入力します

おとくなセット!
初回限定Box

1 「しょかい」を入力する

ローマ字入力：(S) (H) (O) (K) (A) (I)

かな入力：(sh) (シフト) + (o) (kai) (し) (かい)

1 おとくなせ
2 しょかい

「しょかい」がネガ表示されます。

2 **変換スペース**を押す

1番目の候補が点滅します。

しょかい
初回

変換スペースを押すたびに、候補が次々と表示されます。熟語と単漢字の両方の候補があるときは、熟語から先に表示されます。

3 「初回」が点滅表示されている状態で

選択改行を押す

「初回」が確定します。

1 おとくな
2 初回

4 「げんてい」を入力する

ローマ字入力：(G) (E) (N) (T) (E) (I)

かな入力：(ge) (ntei) (げんてい)

1 とくなセット
2 回げんてい

5 **変換スペース**を押す

1番目の候補が点滅します。

げんてい
限定

6 **選択改行**を押す

「限定」が確定します。

1 おとくなせ
2 初回限定

MEMO

- 操作手順②で漢字の候補が表示されているときに、**無変換** (または **←** **→**) を押すと、前の候補が順番に表示されます。
← **→** **↓** **↑** のボタンは、押し続けると表示が速くなります。**シフト** を押しながら **→** **↓** を押すと一番最後の候補が、**シフト** を押しながら **←** **↑** を押すと一番最初の候補が表示されます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 変換をやめるときは **削除** を押します。

!! 注意 !!

- 一度に入力できる「読み」は16文字以内です。ただし、ディスプレイに表示されるのは、末尾5文字だけとなります。
- 長い「読み」を入力すると変換効率が悪くなったり、うまく変換できないことがあります。10文字程度を入力したらいったん漢字に変換し、そのあとで次の読みを入力してください。

参考

漢字の読みを短くする(読み短縮)

目的の漢字が変換した漢字候補の中に見つからないときは、**シフト**+**変換スペース**で漢字変換の対象とする「読み」を短くすることができます。

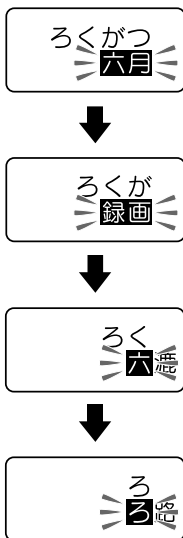
例：「ろくがつ」の読みを短くする

1 「ろくがつ」を入力して**変換スペース**を押す

1番目の候補が点滅します。

2 **シフト**を押しながら**変換スペース**を押す

押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」、「ろく」、「ろ」という読みの候補が表示されます。



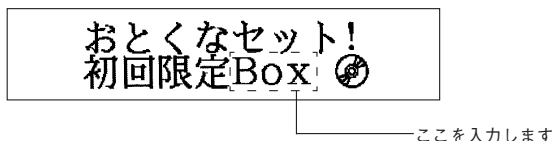
MEMO

変換を確定する最後の**選択改行**ボタンは省略できます。変換したあと、続けて次の文字ボタンを押すと、前の文字は表示されている状態で確定し、続けて次の文字が入力されます。

4. 英数字を入力する

「ABC入力」「ローマ字入力」にすると直接英数字を入力できます。小文字の入力には(シフト)ボタンを使います。文字ボタンに表記された英記号「¥」「~」「/」なども文字ボタンを押して入力します。

例：



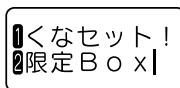
ABC入力のとき

- 1 (入力) を数回押して「ABC入力」を選ぶ



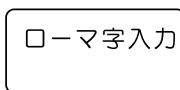
- 2 「Box」を入力する

(B)を押して、(シフト)を押しながら(O) (X)を押します。「Box」が入力されます。



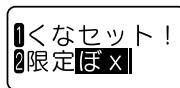
ローマ字入力のとき

- 1 (ローマ) を数回押して「ローマ字入力」を選ぶ



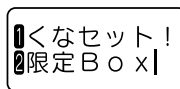
- 2 「Box」を入力する

(B)を押して、(シフト)を押しながら(O) (X)を押します。「Box」がネガ表示されます。



- 3 (シフト)+(無変換)を押してアルファベットに変換する

「Box」が入力されます。



MEMO

- 「ローマ字入力」で「読み」を入力した直後に(無変換)を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→英字」の順に変換します。また、(シフト)を押しながら(無変換)を押すと、押すたびに「英字→ひらがな→カタカナ」の順に変換します。
- 小文字ロック
「ABC入力」時に、(シフト)を押しながら(入力)を押すと、小文字入力状態に切り換わり、(シフト)を押していないときに小文字入力インジケータが点灯します。もとに戻す場合には、もう一度(シフト)を押しながら(入力)を押します。小文字ロック状態はインジケータで確認できます。
参照 P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」

5. スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「□」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

例：



ここにスペースを入力します

1 ネガ文字がないことを確認する

2 **変換スペース**を押す

半角スペースが入力されます。

おとくなセット!
初回限定Box □

テキスト画面には「□」が表示されますが、印刷時にはスペース(空白)として扱われ、印刷されません。

!! 注意 !!

ネガ文字があるときに**変換スペース**を押すと、漢字に変換されます。

MEMO

- 「ローマ字入力」「かな入力」「ABC入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。
- ネガ文字があるときは、スペースは入力できません。

参考

全角スペース

スペースには半角スペース(□)のほかに、全角スペース(□)があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「□」を選択します。

参照 P.41 「6. 記号を入力する」

	テキスト画面	印刷結果
半角スペース	1 田中□慶介	田中 慶介 田中 慶介
全角スペース	2 田中□慶介	

6. 記号を入力する

例 :

おとくなセット!
初回限定Box 

ここを入力します

1 **記号**を押す
「記号」メニューが表示されます。

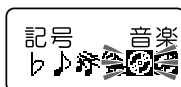
2  で「音楽」を選ぶ




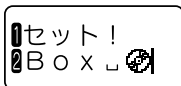
3 **選択改行**を押す
「音楽」の記号が表示されます。





4  で「」を選ぶ



5 **選択改行**を押す
「」が入力されます。





MEMO

- ネガ文字があるときは、**記号** ボタンで記号を入力することはできません。
- 記号の一覧は記号一覧表を参照してください。
参照  P.103 「記号一覧表」
- 操作を途中でやめるときは **削除** または **記号** を押してください。
- 一度選択した記号のメニューや記号は、次回から優先して一番最初に表示されるようになります(学習機能)。
- 記号メニューの「2桁数字」は、2桁で1文字となる数字を入力します。
参照  P.57 「たて書きで2桁の数字を印刷する」
- 記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下の働きをします。


 : 罫入力記号

縦罫線を入力します。

参照  P.69 「外枠・表組」

 : 全角スペース

全角のスペースを入力します。

参照  P.40 「全角スペース」

似顔絵を入力する

記号メニューの「似顔絵」には、32種の輪郭と25種の表情(顔)を組み合わせて、人物や動物の専用記号が簡単に作れます。

例：

1

記号を押す

「記号」メニューが表示されます。

2

 で「似顔絵」を選ぶ



3

選択を押す

「似顔絵」の記号が表示されます。

4

 で「」を選ぶ






5

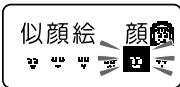
選択を押す

「」が確定し、「顔」候補が点滅します。

6


 で「」を選ぶ

ディスプレイ右上には、選択している輪郭と顔の合成結果が表示されます。



7

選択を押す

「」が入力されます。

MEMO


- ・ネガ文字があるときは記号を入力することはできません。
- ・似顔絵の輪郭と顔の一覧は記号一覧表を参照してください。
参照／P.103「記号一覧表」
- ・処理を途中でやめるときは **削除**を押してください。
- ・一度選択した似顔絵は、次回から優先して最初に表示されるようになります(学習機能)。
- ・小さい文字サイズで似顔絵を選択すると、つぶれが発生することがあります。

7. 印刷イメージを確認する(プレビュー)

文字の入力が終わったら印刷します。印刷前に、印刷するイメージをディスプレイに表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

1 テープカートリッジを正しくセットしているか確認する







実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

参照  P.28 「3. テープカートリッジをセットする」

2 を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

ディスプレイの左側には印刷されるラベルの長さが表示されます。

イメージの表示中に       のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。


プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

プレビューを途中でやめるときは  または  を押してください。

!! 注意 !!

- プレビューが表示されるのは、テキスト画面入力時です。
-  を押したときにテープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し!」や「テープ幅を確認して!」と表示されプレビューは表示されません。
- 行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー」が表示され、プレビューは表示されません。
- プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。
- プレビュー時に表示されるラベルの長さは誤差が生じることがあります。

8. 印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、ACアダプタ(AC0615J)を正しく接続しているかを確認してください。

① **印刷**を押す

「準備中」と表示された後、できあがるラベルの長さ、印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

長さ × .XCM
1枚

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。印刷を途中でやめるときは**削除取消**を押してください。

MEMO

- 印刷中に**ON/OFF**ボタンを押すと印刷を中止し、テープをカットした後に電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと、ディスプレイに印刷枚数が表示されます。
- 印刷枚数表示は、印刷内容(文字や書式など)を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。また、印刷枚数「100枚」の次は「1枚」と表示されます。
- 余白「極少」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。
参照 **P.66**「余白」
- 裏紙がケバ立ってカットされることがありますが、ラベルには影響ありません。

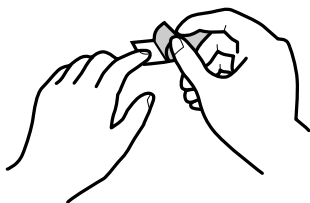
!! 注意 !!

- 反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベルは「自動カット」を無効で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照 **P.80**「自動カットしない」にする」
参照 **P.88**「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷を開始するまでの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- ネガ文字は印刷されません。
- 印刷中に上カバーを開けると、正常に印刷できません。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- 印刷**を押したときにテープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し!」や「テープ幅を確認して!」が表示され印刷できません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
- 印刷**を押したときに文字数が多く定長サイズ内に収まらない場合は、「定長→字余り 強行?」が表示されます。この場合は**印刷**または**選択改行**以外のボタンを押してテキスト画面に戻ってから、文字数を減らすか文字サイズの調整などをおこなってください。**印刷**または**選択改行**を押すと定長を解除して印刷します。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。

9. ラベルを貼る

印刷されたラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



MEMO

オプションのトリマー (RT36W)、オートトリマー (RTA24) を使うと、印刷したラベルのカドを丸くすることができます。


参照  P.11 「別売品のご案内」

!! 注意 !!

- ラベルの種類によっては、裏紙をはがれにくいものがあります。
- ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- 白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒くなりますが、消しゴムなどで軽くこするともとに戻ります。
- 凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなったりすることがあります。
- ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわれることがあります。
- 雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにむやみにラベルを貼るのはやめましょう。
- 「テプラ」で得られるラベルについて


塩化ビニールのように可塑性入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じることがあります。使用目的や接着面の材質を充分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

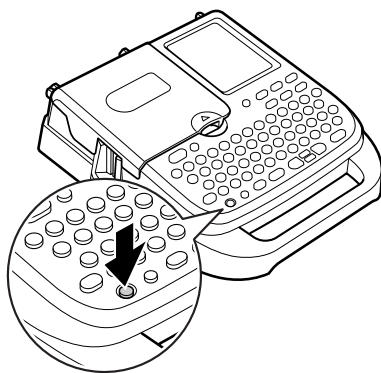
MEMO

「テプラ」PROテープには、接着ラベル以外にも、用途にあわせてさまざまなラベルが用意されています。参照  P.88 「テープカートリッジを使いわける」

●使い終わったら 〈電源を切る〉

① を押す

電源が入っている状態で  を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力した文章やファイルなどのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力した文章が表示されます。



② ACアダプタ(AC0615J)をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。ただし、登録したファイル、入力した文章、学習内容などのデータを保存しておきたいときは、電池を正しくセットしたまま保管することをおすすめします。約4分以上本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。

つづいて

以上で基本的な操作は終了です。続いて「使いかた編2」で複数行、複数段落のラベルを作りましょう。また、「機能編」では、さらにいろいろな機能が利用できるようになるので、楽しいラベルが作れます。

使いかた編 2

～目的にあったラベルを作ろう～

複数行のラベルにしたり、文章を段落に分けるなど、レイアウトを仕上げる機能を確認しましょう。

●文章を作る

入力した文章に文字を挿入したり、入力した文章を消去するなどの変更ができます。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入・削除する位置を表します。

1 テプラ

カーソル

カーソルの移動にはカーソルボタン(← ↑ ↓ →)を使います。本機のディスプレイには最大6文字×2行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
→	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
←	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
↑	前(上)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
↓	次(下)の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
シフト+←	行頭へ移動します。 繰り返すと、前の行の行頭、さらに前の行頭……と移動します。
シフト+→	行末へ移動します。 繰り返すと、次の行の行末、さらに次の行末……と移動します。
シフト+↑	段落の先頭へ移動します。 繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
シフト+↓	段落の終わりへ移動します。 繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

シフト+●となっている表記は、シフトを押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する

1 定期点検

文字はキーボードの文字ボタンで入力し、(変換)を押して漢字などに変換します。
参照 P.34「手順どおりに作ってみよう」

文字を削除/挿入する

文字の後ろ(右側)にカーソルを合わせ(削除)を押すと文字が削除されます。

文字を挿入するときは、挿入したいところにカーソルを合わせます。

例 : 「定期点検実施中」の「定期」を削除し、「特別」を入れて「特別点検実施中」にする

- 1** ← → で「期」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 定期点検実施

- 2** (削除) を2回押して「定期」を削除する

1 定期点検実施



(削除) x2回

1 点検実施

カーソル位置は行頭になります。

- 3** 「特別」を入力する

1 特別点検

!! 注意 !!

挿入によって文字数が入力可能文字数(約90文字)をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク(◀)が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

すべての文章を消去する

入力した文章は電源を切っても消去されません。入力した文章をすべて消去したいときは「全文消去」をおこないます。

- 1** (シフト) を押しながら (削除) (=消去) を押す「消去」メニューが表示されます。



- 2** 「全文消去」を選び、(選択実行) を押す



カーソルのある段落のみを消去したいときは「段落消去」を選びます。

参照 P.54 「特定の段落を消去する」

!! 注意 !!

入力した文章には、各機能の指定内容と一緒に含まれています。全文消去をおこなうと、これらの内容もすべて消去されます。消去してもよいかを充分に確認してから全文消去をおこなってください。

MEMO

- 全文消去では、以下の内容は消去されません。ファイル、保存値、漢字や記号などの学習内容、文字の入力状態
- すべてを購入時の設定に戻したいときは、本機の初期化をおこなってください。
参照 P.83 「本機を初期化する」

●行を増やす(改行)

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます(**選択改行** を押します)。

テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまでの幅のテープを使うことができます。
セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	4行まで

MEMO

表示されている文章が何行目にあるかは行頭マーク **1 2 ……** **✕** で確認できます。**✕** はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。**✕** の表示がある時に **印刷** を押しても「行数オーバー」が表示されます。**✕** のある行を削除してから印刷をおこなってください。

参照 **☞** P.89 「こんな表示が出たときは一行数オーバー」

文字がラベルの上または下に小さく寄ってしまうときは

文字が確定されている状態で文頭または文末で **選択改行** を押すと、何も入力されていない新しい行が作られます。その行も含んだ行数で印刷されるため、すでに文字を入力していた行は、上または下に寄って印刷されます。

このようなときは、**← ↑ ↓ →** を押して必要のない行の行頭マークの右側にカーソルを合わせ、数字の大きい行頭マークから順に **削除取消** を押して削除してください。

参照 **☞** P.51 「改行を取り消す」

新しい行を作る

行の終わりで **選択改行** を押すと、新しい行に入力することができます(改行)。

例 : 3行の文章を入力する

営業1課
営業2課
営業3課

1 「営業1課」を入力し、**選択改行** を押す

1 営業1課 |



選択改行

2行目に行頭マークが表示されます。

1 営業1課
2 |

2 「営業2課」を入力し、**選択改行** を押す

1 営業1課
2 営業2課 |



選択改行

3行目に行頭マークが表示されます。3行目を
入力します。

2 営業2課
3 |

MEMO

ネガ文字があるときは、**選択改行** を押しても改行できず、文字が確定します。

文字を次行に移動する

行の途中で改行すると、カーソルより後ろ(右側)の文字は次の行に移ります。

例：「営業1課田中慶介」を2行にする

営業1課田中慶介

↓途中で改行すると

営業1課
田中慶介

- ① ← → で「課」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

1 | 課田中慶介

- ② 選択改行 を押す

2行目に行頭マークが表示され、「田中慶介」は2行目に移動します。

1 営業1課
2 田中慶介

MEMO

ネガ文字があるときは、削除改行 を押しても改行できず、文字が確定します。

改行を取り消す

行頭マークにカーソルを合わせて 削除改行 を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。

例：2行目での改行を取り消す

株式会社 ○×商事
営業部
営業1課
田中慶介

↓途中の改行を取り消すと

株式会社 ○×商事
営業部営業1課
田中慶介

- ① 3行目の行頭マーク ③ の後ろ(右側)にカーソルを合わせる

2 営業部
3 営業1課

- ② 削除改行 を押す

3行目の「営業1課」が2行目に連結されます。
4行目の「田中慶介」が3行目になります。

1 株式会社
2 営業部
3 営業1課
4 田中慶介

MEMO

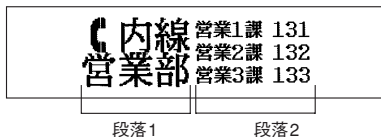
- 最終行の先頭にカーソルを合わせ、削除改行 を押すと4行目の文章が3行目に連結され、4行目は自動的に削除されます。
- 第1段落の1行目の行頭マーク ① は削除できません。

●段落を増やす(改段落)

下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼んでいます。段落とはテープ幅に積み重ねて印刷される「行の集まり(または1行)」のことです。1つのラベルの中に2つの段落を設けることで、いろいろな行数を混在させたり、デザインを段落ごとに変えたりすることができます。

本機では、段落は1つのラベル(文章)の中に2段落まで作ることができます。

段落が2つのラベル



印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では下記のように各段落が縦にならんだ形になります。

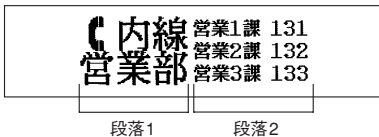
【画面上では】

- 段落1
- ☎ 内線
 - 営業部
- 段落2
- 営業1課_131
 - 営業2課_132
 - 営業3課_133

新しい段落を作る

段落の終わりで(シフト)を押しながら(選択改行)(=改段落)を押すと、新しい段落ができます。

例：2段落の文章を入力する



1 段落1を入力する

1行目に「内線」、2行目「営業部」と入力します。



2 文末にカーソルを合わせ、(シフト)を押しながら(選択改行)(=改段落)を押す

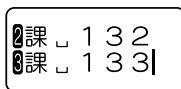
新しい段落が発生し、1が表示されます。



3 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」
2行目「営業2課 132」
3行目「営業3課 133」
と入力します。

改行のときは、行の終わりで(選択改行)を押してください。



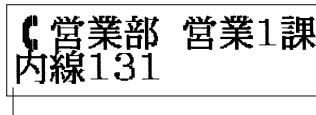
MEMO

- ネガ文字があるときは、(シフト)を押しながら(選択改行)を押しても改段落できず、文字が確定します。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。

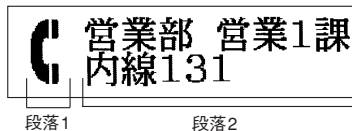
段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ(右側)の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



段落1の「」の後ろ(右側)で改段落すると



1 段落1の1行目「」の後ろ(右側)にカーソルを合わせる



2 (シフト)を押しながら(選択改行)(=改段落)を押す

改段落され、カーソルより後ろ(右側)の文字は新しくできた段落に移ります。カーソルは新しい段落の1行目にあります。



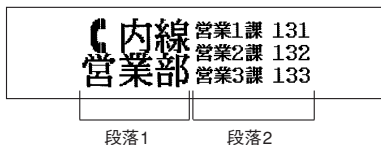
MEMO

- ネガ文字があるときは、(シフト)を押しながら(選択改行)を押しても改段落できず、文字が確定します。
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落の段落スタイルの内容は、もとの段落と同じです。参照 P.67「機能の説明(段落スタイル)」
- もとの段落スタイルの文字サイズに行数が指定されていると、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しくなくなります。このとき、文字サイズは「均等」で印刷されます。参照 P.67「文字サイズ」

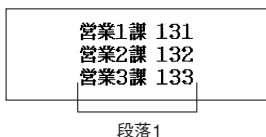
特定の段落を消去する

不要な段落を消去します。段落を消去すると、文字だけではなくその段落に指定された段落スタイル指定、文字モードの指定内容もすべて消去されます。

例：段落1を消去する



段落1を消去すると



- 1** 消去する段落1にカーソルを合わせる
カーソル位置は消したい段落内ならどこでもかまいません。



- 2** シフトを押しながら削除 equal (=消去)を押す
「消去」メニューが表示されます。



!! 注意 !!

「全文消去」で選択 equal を押すと、入力したすべての文章が消去されます。ご注意ください。

- 3** 上 arrow、下 arrow で「段落消去」を選ぶ



- 4** 選択 equal を押す
ディスプレイが一瞬消灯し、段落が消去されます。消去が終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

- 段落消去をおこなうと、カーソル位置の段落内容がすべて消去されます。段落消去は十分に確認してからおこなってください。
- 段落消去を途中でやめるときは、削除 equal を押してください。

機能編

～「テプラ」の機能を使いこなそう～

「ラベルの向きを変えたい」

「ラベルを見栄えよくしたい」

こんなときは各機能のボタンでレイアウトの変更や各種指定をおこないます。

●ラベルの向きを変える(縦・横)

本機には、ラベルの向きをワンタッチで変えられる(縦横)ボタンがあります。

(縦横) ボタンを使う

(縦横) ボタンを使うと、ラベルの向きを「縦」または「横」に切り換えられます。

よこ書きラベル

千代田区東神田*-*
石原 大輔

たて書きラベル

千代田区東神田*-*
石原 大輔



1 (縦横) を押す

「△たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「△よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

ディスプレイの「たて書き」「よこ書き」インジケータも点灯します。

参照 P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」

△たて書き



△よこ書き

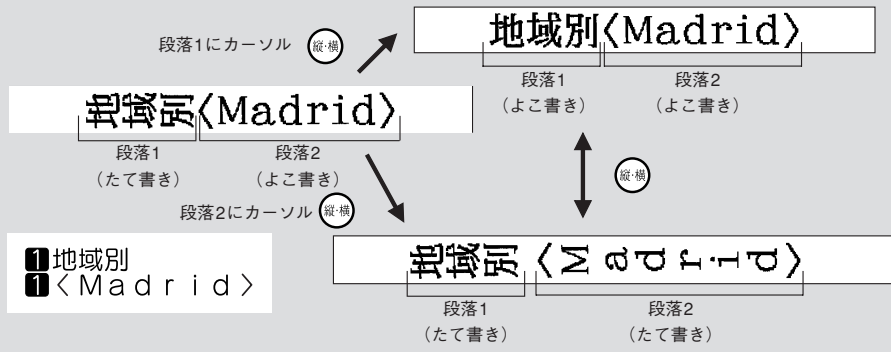


MEMO

- テキスト画面はよこ書きで表示されます。「たて書き」を指定した場合は、プレビューで確認してください。
- ネガ文字があるとき、「たて書き」「よこ書き」は変更できません。
- 段落スタイル機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
参照 P.58 「指定範囲とカーソルの位置について」

!! 注意 !!

(縦横) ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



たて書きで2桁の数字を印刷する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

- ① **〔縦横〕**を押して、「たて書き」を指定する

たて書き

- ② **〔記号〕**を押す

「記号」メニューが表示されます。

記号 記述

- ③ 「2桁数字」を選び、**〔選択改行〕**を押す
2桁数字の候補が表示されます。

記号 2桁数字

- ④ 選択肢から「10」を選び、**〔選択改行〕**を押す

記号 2桁数字
10

ここでは「十の位」は10番台なので「10」を選びます。

10番台の選択肢が表示されます。

記号 10番台
10

- ⑤ 10番台の選択肢から「14」を選び、

〔選択改行〕を押す

記号 10番台
101112 14

カーソル位置に「14」が表示されます。

114

- ⑥ 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときは**〔削除改行〕**または**〔記号〕**を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 2桁の数字は、**〔記号〕**を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、**〔記号〕**ボタンで2桁数字は入力できません。

●ラベルの見栄えをよくする～装飾機能を使おう～

文字の書体や大きさを変えて、見栄えの良いラベルにすることができます。

ラベルの見た目を変えるには、「書式」や「スタイル」、「モード」を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能は、指定可能な範囲の違いによって、「文章書式」・「段落スタイル」・「文字モード」にボタン別に分類されています。

各ボタンの機能

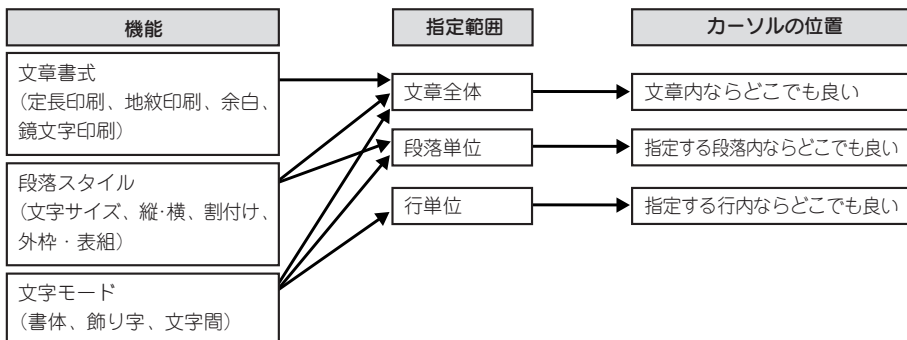
機能の分類	指定範囲	機能	内容
書式	文章全体	定長印刷	できあがるラベルの長さを指定します。
		地紋印刷	背景全体に地紋を入れます。
		余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。
		鏡文字印刷	鏡像で印刷するかどうかを指定します。
スタイル	段落単位 文章全体	文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。
		縦・横	たて書きや、よこ書きにします。
		割付け	各行の割りつけ位置を指定できます。
		外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。
モード	行単位 段落単位 文章全体	書体	漢字、かな、英数字の書体を指定します。
		飾り字	白抜き、影文字、白抜き影、斜体、強調の装飾をします。
		文字間	文字の間隔を変更します。

書式
スタイル
モード

機能編

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、機能のボタンを押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。このカーソル位置を基準にして、メニュー操作の途中で有効範囲の指定をおこないます。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。次の図を参考にカーソルの位置を確認してください。



機能を指定する

機能は以下のような流れで指定します。

1 カーソルを合わせる

行全体に指定するときはその行に、段落に指定するときはその段落内にカーソルを合わせます。

文章全体に指定するときは、カーソル位置はどこでもかまいません。

参照 P.58 「指定範囲とカーソルの位置について」

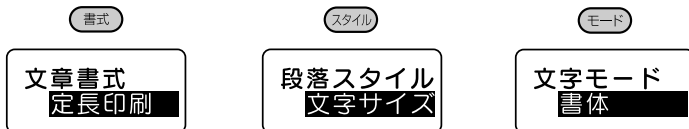
2 機能のボタン(書式)または(スタイル)、(モード)を押す

!! 注意 !!

文章中にネガ文字があるときは、機能は指定できません。

3 機能を選ぶ

↑ ↓ で目的の機能を選び、(選択改行)を押します。



4 各機能の選択肢を指定する

↑ ↓ で目的の選択肢を選び、(選択改行)を押します。

例 : 文字モードの「書体」の選択肢



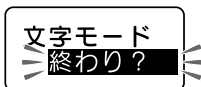
5 「終わり？」を選ぶ

1つの機能の指定が終わると、同じ分類の次の機能が表示されます。

同じ分類の機能(この場合「文字モード」)であれば、続けて指定することができます。↑ ↓ で目的の機能を選び、(選択改行)を押します。

以降の手順は④⑤と同様です。

指定を終了する場合は、「終わり？」を選び、(選択改行)を押します。手順⑥へ進みます。



MEMO




他の機能(この場合「段落スタイル」「文章書式」)を指定したい場合は、手順⑥の後、テキスト画面に戻ってから他の各機能のボタンを押します。

次へ進みます



⑥ 指定した機能の有効範囲を決める

指定した機能の有効範囲を指定します。

下表を参考に、  で指定する範囲を選び、 を押し

ます。

指定が終了し、テキスト画面に戻ります。

(「文章書式」の機能を選択した場合は、有効範囲の画面は表示されず、手順⑤でテキスト画面に戻ります。)

有効範囲は？
この行

● 「文字モード」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した文字モードを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この行	カーソルを合わせた行の行頭に「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。
この段落	カーソルを合わせた段落の行の先頭すべてに「▶(文字モード指定マーク)」が表示され、「▶」直後の文字から行末まで、指定した文字モードを反映します。

● 「段落スタイル」の機能を指定した場合

この文章	文章全体に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。
この段落	カーソルを合わせた段落に、指定した段落スタイルを反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。

● 「文章書式」の機能を指定した場合

有効範囲の画面は表示されません。

手順⑤で「終わり？」を選択した時点で、文章全体に指定した文章書式を反映します(テキスト画面上は何も変わりません)。



書式

スタイル

モード












機能編

MEMO

- ▶(文字モード指定マーク)は印刷されません。
- ▶は削除することができます。「▶」を削除すると、「この文章」で指定した内容、または保存値を反映します。
- 各機能のご購入時の状態(初期設定値)はP.61「文章書式のメニュー一覧」、P.62「段落スタイルのメニュー一覧」、P.64「文字モードのメニュー一覧」で確認できます。また、この設定はP.81「各種の初期値(保存値)を設定する」で変更することもできます。
- 指定の途中で または各機能のボタンを押すと、1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すと、指定を解除しテキスト画面に戻ることができます。
- 一部の指定内容は、インジケータの点灯で確認できます。
参照  P.24 「ディスプレイ(画面)の見かた」
また、各機能のボタンを押して、機能の選択肢を表示させても確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 飾り字、文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。

●文章書式のメニュー一覽

太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
文章書式 定長印刷 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 定長印刷 決まった長さのラベルを作ります。 参照 ↗ P.65 </div>	音楽テープ MD ▶ ミニDV 8mmビデオ VHS FD・MO CDケース B5ファイル A4ファイル しない 1.0cm~50cm	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">  前寄せ  中寄せ  割付け  後寄せ </div>
地紋印刷 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 地紋印刷 定型地紋の入ったラベルを作ります。ピクトグラフを参考に地紋の柄を選びます。 参照 ↗ P.65 </div>	なし00  海波01  菱形02  桜 03  カド 04  唐草05  点網06  切抜07	
余白 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照 ↗ P.66 </div>	ふつう 極少	
鏡文字印刷 ▶ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照 ↗ P.66 </div>	しない する	
終わり? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 終わり? 参照 ↗ P.59 </div>		

●段落スタイルのメニュー一覽


太字 は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
------	--------	-------

段落スタイル

文字サイズ

均等
各行を同じ文字サイズにします。

おまかせフォーマット
各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。
参照  P.67

均等

1行 ▶





2行 ▶

3行 ▶







4行均等

(おまかせフォーマット)





1行

 **特大1a**  大 1b
 中 1c  小 1d

2行


 **大大2a**  中中2b
 大細2c  大小2d
 小大2e  細大2f

3行





 **均等3a**
 1大3b
 2大3c
 3大3d


よこ書き
たて書き

縦・横

縦・横
文字の向きを指定します。
参照  P.68

割付け

 **前揃え**  中揃え
 割付け  後揃え

割付け
各行の文字の配置を指定します。
参照  P.68

スタイル

機能編

段落スタイル

外枠・表組 ▶

表組み
図のような表組みのラベルを作ります。
参照 P.69、107

外枠
図のような飾り枠がつけられます。
参照 P.69、107

終わり? ▶

終わり?
参照 P.59

なし

表組み ▶

外枠 ▶

有効範囲は?

この文章

この段落

01

02

03

04

01

02

03

:

74

75

●文字モードのメニュー一覧

太字 は購入時の初期設定値です。

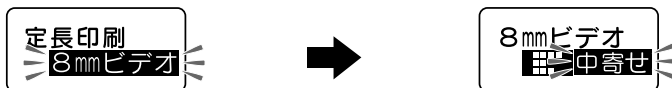
メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
文字モード			
書体 ▶	漢字書体 ▶	かな書体 ▶	英数書体
書体 漢字書体とかな書体、英数書体をそれぞれ選択します。 参照 P.70	明朝体 ゴシック	自動 明朝体 ゴシック ハッピー	自動 明朝体 ゴシック BR体
飾り字 ▶	飾り字		
飾り字 文字の装飾を指定します。 参照 P.70	A ぶつう A 白抜き A 影文字 A 白抜き影 A 強調 A 斜体		
文字間 ▶	ぶつう		
文字間 文字間隔を調整します。 参照 P.71	密着		
終わり? ▶	有効範囲は?		
終わり? 参照 P.59	この文章 この行 この段落		

機能の説明(文章書式)

●定長印刷

印刷するラベルの長さを指定します。

長さを指定した後、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。



1.0cm～50cmは、ラベルの長さを数値で指定できます。



用途別の定長を選ぶとラベルの長さが自動的に指定されます。お使いになるテープは、下表の「推奨テープ幅」をお奨めします。

用途	長さ	推奨テープ幅
音楽テープ	9.5cm	9mm
MD	5.5cm	4mm
ミニDV	4.0cm	9mm
8mmビデオ	7.0cm	9mm
VHS	14cm	18mm
FD・MO	7.0cm	18mm
CDケース	11cm	4mm
B5ファイル	15cm	12mm
A4ファイル	20cm	12mm

MEMO

- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」が表示され、定長印刷できません。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。
- 定長印刷で指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さとは一致しません。

●地紋印刷

ラベルの背景全体に地紋をつけます。表示されるピクトグラフで地紋の柄を確認できます。

地紋印刷では文章の前にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると地紋が入ったラベルができあがります。



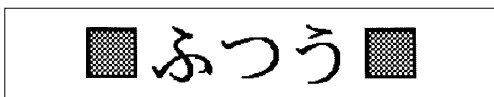
MEMO

地紋を指定した場合、プレビューで地紋が判読できない、文字が表示されないことがありますが、印刷に影響はありません。

●余白

ラベルの前後の余白の長さを指定します。「極少」を指定すると、文章の前にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。

ふつう(余白：前後約10mm、ご購入時の初期設定)



極少(余白：前後約1mm)

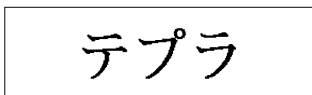


X
└─ カットマーク

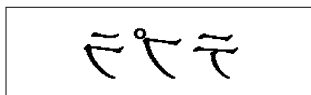
●鏡文字印刷

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

しない(正像、ご購入時の初期設定)



する



機能の説明(段落スタイル)

●文字サイズ

文字サイズの指定は「均等」「おまかせフォーマット」で指定してください。

均等	各行を同じ文字サイズにします。 12mm幅テープ	18mm幅テープ
	2nd アルバム発売中!	封入特典 サインスタンプイベント招待券 日時:9月18日 19:00~ 詳しくは店員まで
おまかせ フォーマット	各行の文字サイズ(行の大小)を、あらかじめ用意された組み合わせの中から選びます(セミオート)。	

おまかせフォーマット(1行~4行)

選択肢から文字サイズ(行の大小)を選びます。表示されるピクトグラフで各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。



おまかせフォーマット 1行

□□ 特大1a・□□□ 大1b・□□□□ 中1c・□□□□□ 小1dと選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさに印刷されます。

印字 サンプル (実寸)	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt]	G	L	M	S	P
テープ幅	[24]	[19]	[13]	[10]	[6]
18mm	特大	大	中	小	-
12mm	特大	大	中	小	-
9mm	-	特大	大	中	小
6mm	-	-	特大	大	中、小
4mm	-	-	-	-	特大、大、 中、小

「G」「L」「M」「S」「P」は文字サイズを表示する「テブラ」PRO共通の呼称です。
1ptは約0.35mmです。

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、おまかせフォーマットの一部分が機能しないことがあります。

MEMO

文字がラベルの上または下に小さく寄ってしまうときは

文字が確定されている状態で文頭または文末で **選択改行** を押すと、何も入力されていない新しい行が作られます。その行も含んだ行数で印刷されるため、すでに文字を入力していた行は、上または下に寄って印刷されます。

このようなときは、**←** **↑** **↓** **→** を押して必要のない行の行頭マークの右側にカーソルを合わせ、数字の大きい行頭マークから順に **削除取消** を押して削除してください。

参照 **☞** P.51 「改行を取り消す」

- おまかせフォーマットは、ピクトグラフで表現しています。
- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケータで確認できます。
- 指定した行数と実際に入力された行数が異なると、「均等」で印刷されます。
- 12mm幅テープと18mm幅テープでは印刷される最大文字サイズは同じです。

●縦・横

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は **縦横** ボタンでも指定できます。

参照 **☞** P.56 「ラベルの向きを変える(縦・横)」

よこ書き(ご購入時の初期設定値)





たて書き

よこ書き

たて書き

●割付け

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

 前揃え(ご購入時の初期設定値)	行頭を揃えます。
 中揃え	各行の中心を揃えます。
 割付け	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割りつけます。
 後揃え	行末を揃えます。

MEMO

文字間「密着」が指定されている場合、割付け「割付け」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。

●外枠・表組

文章(段落)のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし(ご購入時の初期設定値)

外枠・表組みをつけません。

表組み

文章(段落)を枠で囲み、行間に横罫線を引きます。

また、複数の段落に同じ表組みを指定すると、前後に区切られた表ができます。

表示される図で表組みの種類を確認できます。

備品名	RDS
管理番号	1103-U

表組み

02

MEMO

表組みのラベルの行中にさらに縦罫線を入れたいときは、**記号**を押して表示される記号メニューから「編集」を選択し、その中の**罫**を入力します。

ラベルの行中に縦罫線が入る

備品名	RDS	本館
管理番号	1103-U	

段落1 段落2

テキスト画面に**罫**を入力する

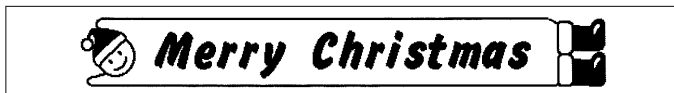
シフト + **選択改行** で改段落をして、
このように段落2を入力します。

1 RDS**罫**本館
2 1103-U

外枠

文章(段落)のまわりに外枠をつけます。

表示される図で外枠の種類を確認できます。



外枠

02

MEMO

表組み・外枠の種類は、**←** **↑** **↓** **→** の代わりに番号を数字ボタンで指定して表示させることができます。

参照 P.107 「外枠・表組み一覧表」

機能の説明(文字モード)

●書体

文字の書体を選びます。かな書体と英数書体で「自動」を選ぶと、漢字書体と同じ書体が選択されます。



明朝体(ご購入時の初期設定値)

美しい文字

ゴシック

美しい文字

ハッピー

うつくしい

BR体

Beautiful

●飾り字

文字の装飾を選択します。

ふつう(ご購入時の初期設定値)

ふつう

白抜き

白抜き

影文字

影文字

白抜き影

白抜き影

強調

強調

斜体

斜体

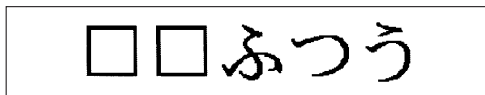
MEMO

文字サイズ、または画数の多い文字によっては、文字がツブれることがあります。

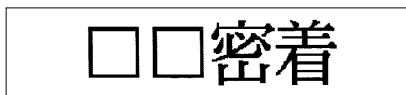
●文字間

文字の間隔を選びます。

ふつう(ご購入時の初期設定値)



密着



MEMO

文字間の指定について

- あらかじめ小さくデザインされている文字に「密着」を指定しても、密着しているように見えないことがあります。
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルが作れます。

活用編

～まだあるこんな機能～

本機には、さらに便利な機能があり、作ったラベルの文章を保存したり、読みのわからない漢字を入力したりできます。

●文章を呼び出す・登録する

作成した文章を登録するには、**シフト**+**記号**^{ファイル} ボタンを押して表示されるメニューから機能を選択します。作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文章のほかに文章書式や段落スタイル、文字モードの指定内容などラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルメニュー画面

ファイル
登録

ファイルボタンのメニュー一覧(**太字** はご購入時の初期設定値です)

メニュー	最初の選択肢	機能	参照ページ
ファイル	登録	作成した文章を保存します	P.75
	呼出	登録した文章を呼び出します	P.76
	消去	登録した文章を消去します	P.76

ファイルを登録する

ファイルに文章を登録します。ファイルはファイル番号1、2(2件)の中から番号を選んで登録します。

!! 注意 !!

- 登録したファイルや入力した文章などのデータを保存しておきたいときは、電池(別売)を使用することをおすすめします。約4分以上、本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。
- 電池を交換する程度の時間(約4分間)は、バックアップ用の回路によって電源が供給されますが、電池交換は速やかにおこなってください。
- 長期間保存した結果、電池が消耗してデータが失われることがあります。

1 **シフト** を押しなが^{ファイル}ら **記号** を押す

2 「登録」を選び、**選択実行** を押す



ファイル登録画面が表示されます。

3 **↑** **↓** または **1**、**2** で登録するファイル番号を選び、**選択実行** を押す



4 内容を確認し、**選択実行** を押す



「登録実行 2」と表示され、登録後にテキスト画面に戻ります。

!! 注意 !!

「登録実行」表示中にACアダプタや電池を抜かないでください。ファイル内容がこわれる場合があります。

MEMO

- 操作を途中でやめるときは **削除取消** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- ネガ文字があると「ファイル」メニューを表示できません。
- データがいっぱいでこれ以上登録できなくなると「ファイル満員」が表示されます。不要なファイルを消去してください。

ファイルを呼び出す

ファイルに登録した文章をテキスト画面に呼び出します。ファイルを呼び出すと、編集集中の文章は全部消去され、呼び出したファイルの文章になります。

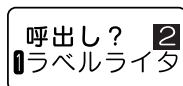
① **シフト**を押しながら **記号**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

② 「呼出」を選び、**選択改行**を押す



ファイル呼出画面が表示されます。

③ **↑** **↓** または **1** **2** で呼び出したいファイルを選び、**選択改行**を押す



呼び出す内容の確認画面になります。

④ 内容を確認し、**選択改行**を押す
← **↑** **↓** **→** で文章を確認できます。



ファイルの文章が呼び出され、テキスト画面に表示されます。

!! 注意 !!

ファイルを呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は消えてしまいます。もう一度確認し、必要な文章はファイルに登録するなどの対処をおこなってください。

MEMO

操作を途中でやめるときは **削除改行** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。

ファイルを消去する

ファイルは、1件ごと消去できます。

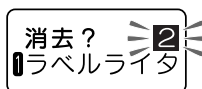
① **シフト**を押しながら **記号**を押す
「ファイル」メニューが表示されます。

② 「消去」を選び、**選択改行**を押す



ファイル消去画面が表示されます。

③ **↑** **↓** または **1** **2** で消去したいファイルを選び、**選択改行**を押す



消去する内容の確認画面になります。

④ 内容を確認し、**選択改行**を押す
← **↑** **↓** **→** で文章を確認できます。



再確認の画面になります。

⑤ **選択改行**を押す



ファイルが消去され、テキスト画面に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは **削除改行** または **記号** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことで、テキスト画面に戻ります。

●読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照  P.97 「漢字変換表」

例：「お休み處」と入力する


1 ネガ文字がないことを確認する



2 入力したい漢字「處」のコードを調べる

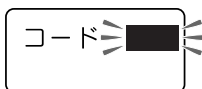
コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

處…4961(区点コード)



参照  P.97 「漢字変換表」

3 を押しながら (=コード入力) を押す

コード入力画面になります。



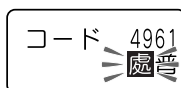
MEMO

ネガ文字があるときは、 を押しながら  を押してもコード入力画面にならず、ネガ文字が変換されます。文字を確定したあとにおこなってください。

4 コードを入力する


    を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



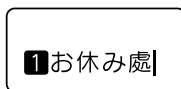
コードを入力すると、目的の文字以外の文字も表示されることがあります。例えば4961は区点コードでは「處」ですが、JISコードでは「普」です。このように異なるコードにも対応した漢字があるときは、候補が複数表示されます。

MEMO

コードの入力を間違えたときは  を押して入力しなおしてください。

5 「處」を選び、 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。



●環境設定を変更する

環境設定メニュー一覧

環境 (=環境設定) を押すと、画面の表示濃度や機能の保存値の設定を変更できます。
 (太字 は購入時の初期設定値)

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢
環境設定 表示濃度 ▶ 表示濃度 画面表示の濃さを設定します。 参照 P.79	-5 : ふつう : +5	
印刷濃度 ▶ 印刷濃度 印刷の濃さを設定します。 参照 P.79	-3 : ふつう : +3	
自動カット ▶ 自動カット 印刷後の自動カットの有無を設定します。 参照 P.80	する しない	
保存値 ▶ 保存値 保存値を設定します。 参照 P.81	復元? 定長印刷 ▶ 地紋印刷 余白 鏡文字印刷 文字サイズ 縦・横 割付け 外枠・表組 書体 飾り字 文字間 終わり?	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。

環境
【環境設定】

活用
編

●ディスプレイの濃度を調整する

ディスプレイの表示濃度は「-5～ふつう～+5」の11段階で設定できます。ディスプレイの表示が見にくい場合は、次の手順で調整します。

① **環境** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

② 「表示濃度」を選び、**選択改行** を押す



③ **↑** **↓** で濃度を調整し、**選択改行** を押す
初期設定値は「ふつう」に設定されています。
表示濃度が設定され、テキスト画面に戻ります。



MEMO

- 設定を途中でやめるときは **削除** を押して1つ前の状態に戻ります。この操作を繰り返すことにより、テキスト画面に戻ることができます。
- 表示濃度は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻らないよう記憶されています。初期設定値に戻す場合は、この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。
参照 [P.83](#) 「本機を初期化する」

●印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～+3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

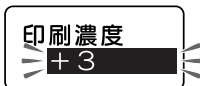
① **環境** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

② 「印刷濃度」を選び、**選択改行** を押す



「印刷濃度」が表示されます

③ **↑** **↓** で濃度を調整し、**選択改行** を押す



印刷濃度が設定されます

MEMO

- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度にあわせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなる場合がありますのでご注意ください。
- 反射ラベル・透明つや消しラベルを使う場合や、上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベルで印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照 [P.88](#) 「テープカートリッジを使い合わせる」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻らないよう記憶されています。初期値に戻す場合は、この操作によって設定し直すか、本機の初期化をおこなってください。
参照 [P.83](#) 「本機を初期化する」

●「自動カット」を設定する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カットしない」にも設定できます。

!! 注意 !!

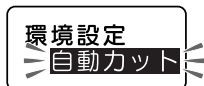
本機のカッターでカットできない反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消シラベル・夜光ラベルを使う場合は、「自動カットしない」にして印刷してください。

参照 P.88 「テープカートリッジを使いわせる」

「自動カットしない」にする

1 **環境** を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

2 「自動カット」を選び、**選択改行** を押す



「自動カット」が表示されます。

3 **↑** **↓** で「しない」を選び、**選択改行** を押す



4 **印刷** を押す
印刷が始まります。
印刷が終わるとテープはカットされず、そのまま止まります。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。
一度、自動カットを「しない」に設定すると、以降はカットされずに印刷されます。全文消去を実行しても自動カットの設定は「しない」のままです。自動カットを有効にしたい場合は、再度「環境設定」メニュー（左記手順の③）で自動カットを「する」に設定してください。

MEMO

- 「自動カットしない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 自動カットが無効でも、「送り／カット」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。

参照 P.31 「5.テープ送りをする」

- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.116 「アフターサービスについて」

●各種の初期値(保存値)を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では(書式)、(スタイル)、(モード)ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
(書式)	定長印刷、地紋印刷、余白、鏡文字印刷
(スタイル)	文字サイズ、縦・横、割付け、外枠・表組
(モード)	書体、飾り字、文字間

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値(「初期設定値」と呼びます)とは異なる場合、保存値を変更しておく、文章を作るたびに(書式)、(スタイル)、(モード)ボタンで変更する必要がなくなります。ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておく、通常は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.61「文章書式のメニュー一覧」、P.62「段落スタイルのメニュー一覧」、P.64「文字モードのメニュー一覧」を参照してください。
- (書式)、(スタイル)、(モード)ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.49「すべての文章を消去する」

保存値を変更する

- 1 **シフト**を押しながら**削除取消**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.49 「すべての文章を消去する」

- 2 **環境**を押す
- 3 「保存値」を選び、**選択改行**を押す



- 4 変更したい項目を選び、**選択改行**を押す

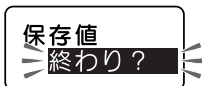


- 5 保存値に設定したい選択肢を選び、**選択改行**を押す



各項目の設定方法は、通常の文章書式や文字モードなどと同じです。
参照 P.58 「ラベルの見栄えをよくする」

- 6 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「保存値」メニューから「終わり?」を選び、**選択改行**を押す



保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値を初期設定値に戻す

変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値(初期設定値)に戻します。

- 1 **シフト**を押しながら**削除取消**(=消去)を押し、全文消去をおこなう

!! 注意 !!

保存値の設定を初期設定値に戻すときには、全文消去をする必要があります。

参照 P.49 「すべての文章を消去する」

- 2 **環境**を押す
- 3 「保存値」を選び、**選択改行**を押す



- 4 「復元?」を選び、**選択改行**を押す



保存値が初期設定値に戻ります。

MEMO

操作を途中でやめるときは**削除取消**を押します。
この操作により、テキスト画面に戻ることができます。

●本機を初期化する

!! 注意 !!

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- 不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- 初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理・検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容		機能	初期化	保存値復元 (P.82)	全文消去 (P.49)
入力	テキスト画面の文章		●	—*1	●
	入力状態と小文字ロック		●	—	—
データ	ファイルデータ		●	—	—
設定	印刷濃度の設定値		●	—	—
	表示濃度の設定値		●	—	—
	各種の保存値		●	●	—

● :ご購入時の状態に戻ります。



— :保持されます。

*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

初期化する

1 ボタンを押して電源を切る

!! 注意 !!


 ボタンを押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度  を押して電源を入れます。以降は手順1からの操作で初期化してください。

2 と を押しながら ボタンを押す

「本体初期化？」が点滅します。



!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは  以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？
今まで登録したファイルなど、あらゆるデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

3 を押す

「初期化 実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれた後、タイトル画面、ローマ字入力モードが表示され、テキスト画面になります。

● デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。また、書体など本機の機能を参照することができます。

- 1 **シフト**を押しながら**削除取消**(=消去)を押し、
全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照 P.49 「すべての文章を消去する」

- 2 「demo」と入力する
参照 P.39 「4.英数字を入力する」



- 3 **シフト**を押しながら**変換**を押す
デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

- 4mm幅テープではデモ印刷できません。
- ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照 P.116 「アフターサービスについて」

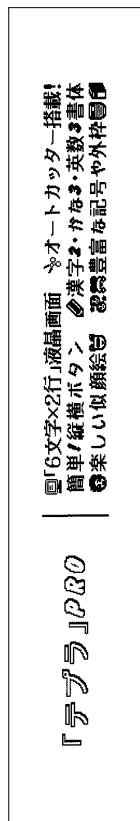
MEMO

印刷を途中でやめるときは**削除取消**を押してください。

見本

6mm幅テープ

18mm幅テープ



付録

●テープカートリッジを使いわける

反射ラベル・アイロンラベル・アイロン転写テープ・マグネットテープ・透明つや消しラベル・熱収縮チューブ・夜光ラベル・上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・転写テープ・グレー文字ラベルをご使用の際は下記のとおり対応してください。

	テープ種類	設定方法
オートカッター 使用禁止	反射ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・透明つや消しラベル・夜光ラベル	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照 P.80 「自動カットしない」にする
印刷濃度の調整が必要	反射ラベル・透明つや消しラベル	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	上質紙ラベル・ふせん紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照 P.79 「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定が必要	転写テープ、アイロン転写テープ	鏡文字を「する」に設定して印刷します。 参照 P.66 「鏡文字印刷」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!! 注意 !!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみをとってください。

参照 [P.31](#) 「5.テープ送りをする」

MEMO

- 以下の商品は生産を中止しています。

夜光ラベル：2002年6月中止

反射ラベル：2003年3月中止

転写テープ：2003年5月中止

ふせん紙ラベル：2004年4月中止

伸縮ラベル：2004年12月中止

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ(φ5mm)をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。φ11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。











●こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します(オート・パワーオフ)。


エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池に交換してください。または、電池の⊕⊖の向きが間違っている場合があります。電池の⊕⊖の向きを確認してください。また、できるだけ付属のACアダプタを使用してください。 参照 P.26 「1. ACアダプタを接続する」 参照 P.26 「2. 電池(別売)を入れて使用するときは」
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照 P.28 「3. テープカートリッジをセットする」
テープ確認！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 参照 P.28 「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープカートリッジをセットしているか、または正しい位置にセットされていない状態で ZEP や 印刷 を押しています。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 参照 P.28 「3. テープカートリッジをセットする」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、 ☒ の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。 参照 P.50 「テープ幅と印刷できる行数」

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り	<p>定長で指定した長さに文章がおさまりません。 文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 参照  P.65 「定長印刷」</p>
定長→字余り 強行？	<p>定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で  や  を押しています。 いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま  または  を押すと、定長を解除してプレビューまたは印刷を強行します。 参照  P.65 「定長印刷」</p>
ファイル満員	<p>ファイルを登録するメモリーがいっぱいで、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイルを消去してください。 参照  P.76 「ファイルを消去する」</p>
ファイル無し	<p>ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとした。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照  P.75 「ファイルを登録する」</p>
モーター 異常！	<p>モーター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 参照  P.116 「アフターサービスについて」</p>
カッター 異常！	<p>カッター動作に不具合がありました。電源を一旦切って再度入れなおしてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店、または「テプラ」取扱店に修理を依頼してください。 参照  P.116 「アフターサービスについて」</p>

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.116 「アフターサービスについて」

●故障かな？と思ったら

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。

不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったときは、「本機の初期化」をおこなってください。

参照  P.83 「本機を初期化する」

ボタンを押してもディスプレイに何も表示されない


- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

参照  P.26 「1.ACアダプタを接続する」

- 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが⊕⊖逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、全ての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照  P.26 「2.電池(別売)を入れて使用するときは」

- 専用ACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

同梱のACアダプタ(AC0615J)以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

- 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

- ディスプレイの表示濃度は適切ですか？

ディスプレイの表示濃度によっては表示が見えないときがあります。ディスプレイが見にくいときは、表示濃度を調整することができます。

参照  P.79 「ディスプレイの濃度を調整する」

ディスプレイが消える

- オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、5分間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。(オート・パワーオフ)

- 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

を押しても何も印刷されない

- 文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

- ディスプレイにメッセージが表示されていませんか？


エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照  P.89 「こんな表示が出たときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

- 消耗していないテープカートリッジが正しくセットされていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていたり、上カバーが正しく閉じていないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

参照  P.28 「3.テープカートリッジをセットする」

- 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。「電池を交換！」が表示されたら、すぐに新しい電池と交換してください。

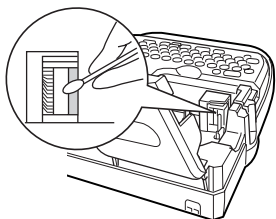
電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

- **上カバーは閉じていますか？**
上カバーが開いていると印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーを完全に閉じてください。
参照 ☞ P.28「3.テープカートリッジをセットする」

文字がきちんと印刷されない

- **テープカートリッジは正しくセットされていますか？**
テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。テープカートリッジを取り出し、もう一度手順にしたがってセットしてください。
参照 ☞ P.28「3.テープカートリッジをセットする」

- **印刷ヘッドが汚れていませんか？**
印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR18C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。
参照 ☞ P.94「お手入れについて」



- **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AC0615J)を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

- **間違った位置で「選択改行」を押していませんか？**
文字がラベルの上または下に小さく寄って印刷される時は、文字が確定されている状態で文頭または文末で「選択改行」を押し、新しい行が作られています。その何も入力されていない行も含んだ行数で印刷されるため、すでに文字を入力していた行は上または下に寄ってしまいます。このようなときは、 を押して必要のない行の行頭マークの右側に「削除改行」を押して削除してください。
参照 ☞ P.51「改行を取り消す」

ラベルを印刷後、自動カットされない

- **自動カットを「しない」に設定していませんか？**
印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。
参照 ☞ P.80「「自動カット」を設定する」
- **カッターの刃が磨耗していませんか？**
カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店、「テプラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照 ☞ P.116「アフターサービスについて」

文章の途中までしか印刷されない

- **テープカートリッジにテープの残りがありませんか？**
テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。
参照 ☞ P.28「3.テープカートリッジをセットする」
- **電池が消耗していませんか？**
電池が消耗すると「電池を交換！」が表示されます。速やかにすべての電池を新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、同梱のACアダプタ(AC0615J)を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることがあります。

ファイルの内容が消えてしまった

● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われます。

参照  P.83 「本機を初期化する」

● 電池がセットされていますか？

登録したファイルや入力した文章の内容を保存しておきたいときは、電池(別売)を使用することをおすすめします。約4分以上、本機に電源が供給されないと、データがすべて失われることがあります。また、「電池を交換！」が表示されたら、電池が消耗しています。すぐに新しい電池と交換してください。

● 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。

● 動作中にACアダプタや電池を抜きませんでしたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」が表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイルや入力した文章、学習内容などのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。


参照  P.45 「9.ラベルを貼る」

● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありませんか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ・油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照  P.116 「アフターサービスについて」

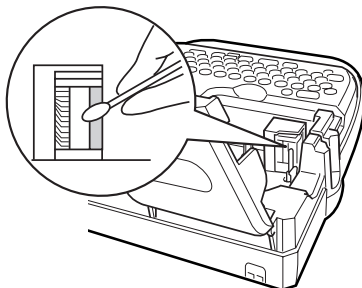
●お手入れについて

■本機外側の汚れ・ホコリは

乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれ布巾で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

■印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ(SR18C)またはヘッド・クリーニングキット(RC15)をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール(エチルアルコール)を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



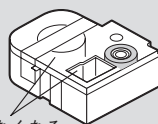
ヘッド・クリーニングテープ(別売)を使う

ヘッドクリーニングをおこなう

- 1 ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする
- 2 **シフト** を押しながら **印刷** (=送り/カット) を押す
- 3 「テープ送り」を選び、**選択実行** を押す
「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回 おこなってください。
参照 P.31 「5.テープ送りをする」

!! 注意 !!

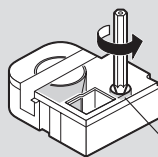
- 使用後は元の箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ・砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドを傷める原因になります。
- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドを傷める原因となります。
- 図のようにテープがすべて「巻き取りコア」に巻き取られたら、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドを傷めるおそれがありますので、ご使用にならないでください。



白いテープがなくなる

MEMO

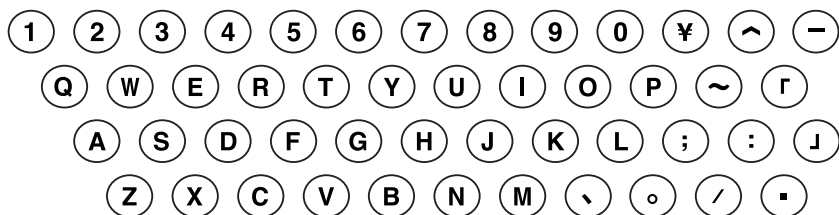
- 本機でご使用になるヘッド・クリーニングテープはSR18Cをお使いください。
- テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- テープがたるんでいる場合、図のように「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみをとってください。
- ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめにみえますが、約120回のクリーニングが可能です。



巻き取りコア

●入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

「大」は(シフト)を押していない状態、「小」は(シフト)を押した状態を表します。

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
1	1	!	ぬ	!	1	!
2	2	@	ふ	@	2	@
3	3	#	あ	あ	3	#
4	4	\$	う	う	4	\$
5	5	%	え	え	5	%
6	6	&	お	お	6	&
7	7	'	や	や	7	'
8	8	*	ゆ	ゆ	8	*
9	9	(よ	よ	9	(
0	0)	わ	を	0)
¥	¥	=	ほ	ほ	¥	=
^	^	^	へ	へ	^	^
-	-	-	-	-	-	-
Q	Q	q	た	た	Q	q
W	W	w	て	て	W	w
E	E	e	い	い	E	e
R	R	r	す	す	R	r
T	T	t	か	か	T	t
Y	Y	y	ん	ん	Y	y
U	U	u	な	な	U	u
I	I	i	に	に	I	i
O	O	o	ら	ら	O	o
P	P	p	せ	せ	P	p
~	~	÷	。	。	~	÷

ボタン	ローマ字		かな		ABC	
	大	小	大	小	大	小
A	A	a	ち	ち	A	a
S	S	s	と	と	S	s
D	D	d	し	し	D	d
F	F	f	は	は	F	f
G	G	g	き	き	G	g
H	H	h	く	く	H	h
J	J	j	ま	ま	J	j
K	K	k	の	の	K	k
L	L	l	り	り	L	l
:	:	+	れ	れ	:	+
;	;	×	け	け	;	×
]]		む	む]	
Z	Z	z	つ	つ	Z	z
X	X	x	さ	さ	X	x
C	C	c	そ	そ	C	c
V	V	v	ひ	ひ	V	v
B	B	b	こ	こ	B	b
N	N	n	み	み	N	n
M	M	m	も	も	M	m
,	,	,	ね	、	,	,
°	°	°	る	。°	°	°
/	/	?	め	?°	/	?
.	.	.	ろ	・	.	.

注1： ボタン(シフト)の「~」とボタン(シフト)の「|」は単独では入力できません。単独で入力した場合は「~」、 「|」になります。

注2： ボタン(シフト)で入力できる文字は次のとおりです。

ローマ字(大)、かな(大)：「~」(長音)

ローマ字(小)、かな(小)、ABC(小)：「-」(マイナス)

ABC(大)：「-」(ハイフン)

注3： ボタン(シフト)の「|」はピリオドです。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照 P.77 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

!! 注意 !!

- 漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。

参照 P.77 「読みのわからない漢字を入力する(コード入力)」

- 表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準 *の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア	1601~1609	亜 啞 娃 阿 哀 愛 挨 始 逢	カ	1880~1889	介 会 解 回 塊 壞 廻 快 怪 悔
	1610~1619	葵 茜 穉 惡 握 渥 旭 葦 芦 鯨		1890~1894	恢 懷 戒 拐 改
	1620~1629	梓 庠 幹 扱 宛 姐 虻 飴 絢 綾		1901~1909	魁 晦 械 海 仄 界 皆 繪 芥
	1630~1639	鮎 或 粟 恰 安 庵 按 暗 案 闇		1910~1919	蟹 開 階 貝 凱 効 外 咳 害 崖
	1640~1641	鞍 杏		1920~1929	慨 概 漚 碍 蓋 街 該 鎧 骸 漚
	1642~1649	以 伊 位 依 偉 困 夷 委		1930~1939	馨 蛙 垣 柿 蛎 鈎 鈎 嚇 各 廓
イ	1650~1659	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異	1940~1949	扞 攬 格 核 殼 獲 確 獲 覺 角	
	1660~1669	移 維 緯 胃 萎 衣 謂 違 遣 医	1950~1959	赫 較 郭 閣 隔 革 学 岳 樂 額	
	1670~1679	井 支 域 育 郁 磯 一 壺 溢 逸	1960~1969	顎 掛 笠 檉 櫃 棍 歛 割 喝	
	1680~1689	稻 茨 芋 鰯 允 印 咽 員 因 姻	1970~1979	恰 括 活 渴 滑 葛 褐 轄 且 鏗	
	1690~1694	引 飲 淫 胤 蔭	1980~1989	叶 枕 樺 鞞 株 兜 蒲 瀧 釜 鎌	
	1701~1705	院 陰 隱 韻 吋	1990~1994	嘯 鴨 栢 茅 荳	
ウ	1706~1709	右 宇 烏 羽	2001~2009	粥 刈 苜 瓦 乾 侃 冠 寒 刊	
	1710~1719	迂 雨 卯 鸚 鴉 丑 確 白 渦 噓	2010~2019	勘 勸 卷 喚 堪 姦 完 官 寬 干	
	1720~1729	唄 鬱 蔚 蠟 鮫 尻 浦 瓜 閤 噂	2020~2029	幹 患 感 慣 憾 換 敗 柑 桓 棺	
	1730~1732	云 運 雲	2030~2039	款 歛 汗 漢 濶 濯 環 甘 監 看	
エ	1733~1739	荏 餌 韻 營 嬰 影 映	2040~2049	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 艦 莞 觀	
	1740~1749	曳 榮 永 洩 洩 瑛 盈 穎 穎 英	2050~2059	諫 貫 還 鑑 問 閑 閑 閤 韓 館	
	1750~1759	衛 詠 銳 液 疫 益 駢 悅 謁 越	2060~2069	館 丸 含 岸 巖 玩 癌 眼 岩 翫	
	1760~1769	閤 榎 馱 円 園 堰 奄 宴 延 怨	2070~2074	贖 雁 頑 頑 願	
	1770~1779	掩 援 沿 演 炎 焰 煙 燕 猿 綠	キ	2075~2079	企 伎 危 喜 器
	1780~1786	艷 苑 菌 遠 鈴 鴛 塩		2080~2089	基 奇 嬉 寄 岐 希 幾 忌 揮 机
1787~1789	於 汚 甥	2090~2094		旗 既 期 棋 棄	
1790~1794	凹 央 輿 往 応	2101~2109		機 掃 穀 氣 汽 畿 祈 季 稀	
1801~1809	押 旺 横 欧 毆 王 翁 襖 鶯	2110~2119		紀 徽 規 記 貴 起 軌 輝 飢 騎	
1810~1819	鴉 黃 岡 冲 菝 毳 屋 憶 臆 桶	2120~2129		鬼 龜 偽 儀 妓 宜 戲 技 擬 欺	
カ	1820~1827	牡 乙 俺 卸 恩 温 穩 音	2130~2139	穢 疑 祇 義 蟻 誼 譏 詢 菊 鞠	
	1828~1829	下 化	2140~2149	吉 吹 喫 桔 橘 詰 砧 砧 黍 却	
	1830~1839	仮 何 伽 佳 佳 加 可 嘉 夏 嫁	2150~2159	客 脚 塵 逆 丘 久 仇 休 及 吸	
	1840~1849	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂	2160~2169	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 灸 球	
	1850~1859	禍 禾 稼 箇 花 苜 茄 荷 華 菓	2170~2179	究 窮 笈 笈 糾 給 旧 牛 去 居	
	1860~1869	蝦 課 嘩 貨 迎 過 霞 蚊 俄 峨	2180~2189	兎 巨 扼 拳 屨 巢 虛 許 距 鋸 漁	
1870~1879	我 牙 画 臥 芽 蛾 賀 雅 餓 駕	2190~2194	禦 魚 亨 亨 京		
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
キ	2201~2209	供	俠	僑	兇	鏡	共	凶	協	匡	
	2210~2219	脚	叫	喬	峽	強	強	法	恐	恭	
	2220~2229	扶	教	橋	況	狹	胸	脅	興		
	2230~2239	蕎	郷	鏡	響	仰	凝	僂	曉		
	2240~2249	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均
	2250~2259	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	2260~2268	芹	菌	衿	謹	謙	近	金	吟	銀	
	2269										九
ク	2270~2279	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駮	
	2280~2289	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	
	2290~2294	串	櫛	釧	屑	屈					
	2301~2309		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	糸
	2310~2319	栗	繰	桑	歛	歛	君	薰	訓	群	軍
	2320	郡									
	2321~2329		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	2330~2339	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭
ケ	2340~2349	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	糸	經	繼
	2350~2359	繫	罟	荃	荊	筴	計	詣	警	輕	頸
	2360~2369	鷄	芸	迎	鯨	刺	戟	擊	激	隙	桁
	2370~2379	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380~2389	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	堅	圜	嫌
	2390~2394	建	憲	懸	拳	搥					
	2401~2409		檢	權	牽	犬	獻	研	硯	絹	具
	2410~2419		肩	見	謙	賢	軋	遣	鍵	險	顛
コ	2420~2429	鯨	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現
	2430~2434	絃	絃	言	諺	限					
	2435~2439						乎	個	古	呼	固
	2440~2449	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	孤
	2450~2459	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	屨	屨
	2460~2469	顧	鼓	五	互	午	呉	吾	娛	後	
	2470~2479	御	悟	梧	檣	檣	碁	語	誤	護	翻
	2480~2489	乞	鯉	交	佼	候	候	倖	光	公	功
ク	2490~2494	効	勾	厚	口	向					
	2501~2509		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	2510~2519	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗	
	2520~2529	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	2530~2539	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	2540~2549	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	脛	腔	膏
	2550~2559	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醇	鉞
	2560~2569	砧	銅	閣	降	項	香	高	鴻	剛	劫
サ	2570~2579	号	合	壕	拷	濤	豪	轟	趨	克	刻
	2580~2589	告	国	穀	酷	鶴	黑	獄	澀	腰	甌
	2590~2594	忽	惚	骨	伯	込					
	2601~2609		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	2610~2618	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂	
	2619										些
	2620~2629	佐	又	峻	嵯	左	差	查	沙	磋	砂
	2630~2639	詐	鎖	梁	坐	挫	債	催	再	最	
サ	2640~2649	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	裁	濟	
	2650~2659	災	采	犀	砒	砒	祭	齋	細	菜	裁
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
サ	2660~2669	載	際	劑	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	2670~2679	堺	神	肴	咲	崎	埼	鷲	作	削	
	2680~2689	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	2690~2694	鮭	笹	匙	冊	刷					
	2701~2709		察	撈	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜
	2710~2719	鯖	捌	鋸	鮎	晒	三	傘	參	山	
	2720~2729	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕
	2730~2736	讚	贊	餐	餐	斬	暫	殘			
シ	2737~2739										仕
	2740~2749	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	2750~2759	子	屍	市	師	志	思	指	支	攷	斯
	2760~2769	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	糸
	2770~2779	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780~2789	詔	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児
	2790~2794	宇	寺	慈	持	時					
	2801~2809		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
シ	2810~2819	耳	自	蔞	薛	汐	鹿	武	識	鳴	竺
	2820~2829	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	2830~2839	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	儀	柴	芝
	2840~2849	屢	蕊	蒔	舍	写	射	捨	救	斜	煮
	2850~2859	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2860~2869	尺	灼	灼	爵	酌	積	錫	若	寂	弱
	2870~2879	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	樹
	2880~2889	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
シ	2890~2894	綬	需	囚	収	周					
	2901~2909		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	2910~2919	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	雙	蹴
	2920~2929	輯	週	酉	酬	集	醜	什	仕	充	十
	2930~2939	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	塾	熟	術
	2940~2949	夙	宿	祝	祝	縮	肅	塾	熟	出	術
	2950~2959	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	2960~2969	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	巡	巡	遵
シ	2970~2979	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	2980~2989	署	書	書	諸	諸	助	叙	女	序	徐
	2990~2994	恕	鋤	除	傷	償					
	3001~3009		勝	匠	升	召	哨	唱	商	嘗	獎
	3010~3019	妾	媚	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠
	3020~3029	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	3030~3039	松	梢	樟	樵	沼	消	湘	燒	焦	
	3040~3049	照	症	省	硝	礁	祥	章	笑	粧	
シ	3050~3059	紹	肖	莠	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	3060~3069	詳	象	賞	醬	鉦	鐘	鐘	障	釁	詔
	3070~3079	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	壤	常
	3080~3089	情	擾	条	杖	淨	状	量	稷	蒸	讓
	3090~3094	釀	錠	囁	墟	飾					
	3101~3109		植	植	燭	織	職	色	触	食	
	3110~3119	蝕	辱	唇	伸	信	侵	昏	娠	寢	審
	3120~3129	心	慎	振	新	晋	森	樸	深	深	申
シ	3130~3139	疹	真	神	秦	神	臣	芯	新	親	診
	3140~3149	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
シ ス	3150~3157	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞠			
	3158~3159									箇	諏	
	3160~3169	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	
	3170~3179	炊	睡	粹	翠	邃	醉	錐	錘	隨		
	3180~3189	瑞	髓	崇	嵩	敷	枢	趨	雛	据	杉	
	3190~3194	相	菅	頗	雀	裾						
	3201~3203		澄	摺	寸							
	3204~3209					世	瀬	畝	是	凄	制	
	3210~3219	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	
	3220~3229	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声	製	
	3230~3239	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	
	3240~3249	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	
	3250~3259	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	
	3260~3269	接	撰	折	設	窃	節	說	雪	絶	舌	
	3270~3279	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	
3280~3289	扇	撰	栓	梅	泉	淺	洗	染	潛	煎		
3290~3294	煽	旋	穿	箭	線							
3301~3309		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	踐	踐		
3310~3319	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		
3320~3324	全	禪	繕	膳	糰							
3325~3329								噲	塑	咀	措	曾
3330~3339	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	祖	粗	素		
3340~3349	組	蘇	訴	阻	溯	鼠	僧	創	及	叢		
3350~3359	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想		
3360~3369	搜	掃	挿	搔	搔	早	曹	巢	槍	槽		
3370~3379	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	綜	綜	聰		
3380~3389	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗		
3390~3394	霜	騷	像	增	增							
3401~3409		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息		
3410~3419	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統		
3420~3429	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		
3430~3439	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打		
3440~3449	陀	舵	椅	陀	駄	驛	体	堆	対	耐		
3450~3459	俗	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎		
3460~3469	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代		
3470~3479	台	大	第	醒	題	鷹	滝	龍	卓	啄		
3480~3489	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁		
3490~3494	諾	茸	風	蜻	只							
3501~3509		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	堅	迪		
3510~3519	棚	谷	狸	鱈	鱈	誰	丹	單	嘆	坦		
3520~3529	担	探	旦	軟	淡	湛	炭	短	端	簞		
3530~3539	綻	耽	胆	蛋	綻	錠	団	壇	彈	斷		
3540~3544	暖	檀	段	男	談							
3545~3549						值	知	地	馳	恥		
3550~3559	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳	築		
3560~3569	畜	竹	筑	著	逐	秩	窒	茶	矯	着		
3570~3579	中	仲	宙	抽	昼	柱	注	虫	衷	衷		
3580~3589	註	耐	鈔	駐	瀦	猪	苧	苧	苧	貯		
3590~3594	丁	兆	凋	喋	龍							
3601~3609		帖	帳	庁	用	張	彫	微	懲	挑		

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
チ	3610~3619	暢	朝	潮	濤	町	眺	瞻	賬	腸	蝶					
	3620~3629	調	課	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄					
	3630~3636	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳								
ツ	3637~3639									津	墜	椎				
	3640~3649	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	楯	槻	佃					
テ	3650~3659	漬	拓	辻	葛	綴	鏝	積	漬	坪	壺					
	3660~3665	孀	紬	八	吊	釣	鶴									
	3666~3669									亭	低	停	偵			
ト	3670~3679	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟					
	3680~3689	梯	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締					
	3690~3694	艇	訂	諦	蹄	通										
ナ	3701~3709		邸	鄭	釘	鼎	泥	攜	擲	敵	滴					
	3710~3719	的	笛	適	鎚	濁	哲	徹	徹	轍	迭					
	3720~3729	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼					
ナ	3730~3737	転	顛	点	伝	殿	澁	田	電							
	3738~3739									兔	吐					
	3740~3749	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟					
ニ	3750~3759	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴					
	3760~3769	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套					
	3770~3779	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棹	棟					
ナ	3780~3789	盜	淘	湯	燙	灯	燈	当	痘	痔	等					
	3790~3794	答	筒	糖	統	到										
	3801~3809		董	蕩	藤	討	膽	豆	踏	逃	透					
ナ	3810~3819	銓	陶	頭	騰	闊	働	動	同	堂	導					
	3820~3829	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠					
	3830~3839	鴿	匿	得	德	澆	特	督	秃	篤	毒					
ナ	3840~3849	独	詭	栴	椽	凸	突	楸	届	薦	苦					
	3850~3859	寅	西	滯	岷	屯	悼	敦	沌	豚	遁					
	3860~3863	頓	吞	曇	鈍											
ナ	3864~3869									奈	那	内	仄	風	雍	
	3870~3879	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	暇	南	楠					
	3880~3882	軟	難	汝												
ニ	3883~3889									二	尼	弍	迺	句	脈	肉
	3890~3894	虹	廿	日	乳	入										
	3901~3907		如	尿	菲	任	妊	忍	認							
ナ	3908										濡					
	3909										襦					
	3910~3919	衤	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	燃					
ノ	3920	粘														
	3921~3929		乃	迺	之	楚	囊	惱	濃	納	能					
	3930~3934	腦	農	農	覗	蚤										
ハ	3935~3939									巴	把	播	霸	杷		
	3940~3949	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	龐					
	3950~3959	排	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	鞞	配					
ハ	3960~3969	倍	培	媒	梅	煤	煤	買	買	壳	賠					
	3970~3979	陪	這	蝗	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍					
	3980~3989	柏	白	泊	箔	柏	舶	薄	迫	曝	漠					
ハ	3990~3994	爆	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖	莖					
	4001~4009		函	箱	駁	麥										
	4010~4019	畑	晶	八	鉢	澆	発	髷	髮	髷	伐	罰				

付録

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ハ	4020~4029	拔	筏	闊	鳩	嘶	犒	蛤	隼	伴	判
	4030~4039	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	版
	4040~4049	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	煩	煩
	4050~4058	頒	飯	挽	喚	番	盤	磐	蕃	審	
	4059										匪
	4060~4069	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	4070~4079	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080~4089	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	4090~4094	枇	毘	琵琶	眉	美					
	4101~4109	鼻	矜	裨	匹	正	髭	彦	膝	菱	
4110~4119	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	
4120~4129	百	謬	佞	彪	標	水	漂	瓢	票	表	
4130~4139	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鎬	鋸	蒜	
4140~4149	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀨	貧	質	類	
4150~4151	敏	瓶									
フ	4152~4159		不	付	埠	阜	婦	富	富	布	
	4160~4169	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	腐	
	4170~4179	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	撫	
	4180~4189	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	露
	4190~4194	伏	副	復	幅	服					
	4201~4209		福	腹	覆	淵	弗	弘	沸	仏	
	4210~4219	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	
	4220~4225	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	4226~4229							丙	併	兵	堀
	4230~4239	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陞	米	頁
4240~4249	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	窺	偏	變	
4250~4259	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	
4260	鞭										
ホ	4261~4269		保	舖	鋪	圃	捕	步	甫	輔	輔
	4270~4279	穗	募	墓	慕	暮	母	簿	菩	倣	
	4280~4289	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	4290~4294	抱	捧	放	方	朋					
	4301~4309		法	泡	烹	砲	鑊	胞	芳	萌	蓬
	4310~4319	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	4320~4329	亡	傍	剖	坊	妨	暢	忘	忙	房	暴
	4330~4339	望	某	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貌	貿
	4340~4349	銓	防	吠	頰	北	僕	卜	墨	撲	朴
	4350~4359	牧	陸	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔
4360~4363	本	翻	凡	盆							
マ	4364~4369					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	4370~4379	味	枚	每	理	榎	幕	膜	枕	鮪	框
	4380~4389	鱒	裨	亦	俟	又	抹	末	沫	迄	俟
	4390~4394	蘭	磨	万	慢	滿					
	4401~4402		漫	蔓							
	4403~4409					味	未	魅	巳	箕	岬
	4410~4418		蜜	湊	糞	稔	脈	妙	耗	民	眠
	4419										務
	4420~4428		夢	無	牟	矛	霧	鵝	椋	婿	娘
	4429										冥
4430~4439		名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	
4440~4439										滅	
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
メ	4440~4445	免	棉	綿	緬	面	麵				
	4446~4449								摸	茂	妄
モ	4450~4459	孟	毛	猛	盲	綱	耗	蒙	儲	木	黙
	4460~4469	目	空	勿	餅	尤	戻	初	貫	問	問
ヤ	4470~4472	紋	門	芻							
	4473~4479						也	冶	夜	爺	耶
ユ	4480~4489	矢	厄	役	約	葉	訳	躍	靖	柳	藪
	4490	鏝									
ヨ	4491~4494					愉	愈	油	癒		
	4501~4509		論	輪	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
エ	4510~4519	悠	憂	揖	有	柚	湧	猶	猶	猷	由
	4520~4528	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	雌	夕	
ヨ	4529										予
	4530~4539	余	与	譽	譽	預	備	幼	妖	容	庸
ウ	4540~4549	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4550~4559	窯	羊	耀	葉	蓉	要	詔	誦	遙	陽
ラ	4560~4568	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	澁		
	4569										羅
リ	4570~4579	螺	裸	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪	
	4580~4587	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽		
ル	4588~4589										利
	4590~4594	履	李	梨	理	璃					
レ	4601~4609	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	
	4610~4619	律	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
ロ	4620~4629	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	僚	
	4630~4639	兩	凌	寮	寮	涼	獺	療	瞭	稜	
ル	4640~4649	糧	良	諒	遠	量	陵	領	力	綠	倫
	4650~4659	厘	林	淋	琳	臨	輪	麟	麟		
レ	4660~4664	瑠	壘	淚	累	類					
	4665~4669							令	伶	冷	勵
リ	4670~4679	嶺	伶	玲	玲	苓	鈴	隸	隸	麗	麗
	4680~4689	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐
ロ	4690~4694	漣	煉	簾	練	聯					
	4701~4703		連	連	連						
ワ	4704~4709						呂	魯	槽	灼	路
	4710~4719	露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	榔	浪	漏
フ	4720~4729	牢	狼	籠	老	聲	蠟	郎	六	麓	祿
	4730~4732	肋	録	論							
フ	4733~4739						倭	和	話	至	賄
	4740~4749	枠	鷲	互	互	鰐	託	藪	藪	椀	湾
4750~4751	碗	腕									
	区点コード	*0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表わします。従って「井」の区点コードは「4807」となります。

区	区点コード
48	07 10 11 14 17 19 22 28 37 39 42 44 45 46 47 井 乖 乘 豫 式 亞 亢 仄 佚 佛 竹 修 侏 佻 佻
	50 52 54 57 58 66 70 71 77 82 83 85 89 90 94 侑 來 儘 俎 俘 倮 倮 倮 會 偕 偈 儉 儉 儉
49	03 06 07 08 11 13 19 20 27 28 30 45 53 56 59 傳 偽 僂 僂 僂 儉 儉 儉 兒 兌 兢 冤 冲 冽 凜
	60 61 62 64 66 67 70 73 74 75 78 79 82 84 87 几 處 凧 凧 函 双 刎 刮 刎 刎 刎 刺 刺 刺 刺
50	01 06 14 19 21 22 28 32 36 43 45 46 50 54 55 辦 勁 勳 匄 匄 匄 匄 卒 己 卷 彪 厠 廠 雙 雙
	56 63 67 69 71 74 75 76 81 82 84 86 89 91 92 曼 吡 吼 吶 吝 呵 咎 咳 呻 咀 咄 咆 咸 咬 哄
51	03 04 12 13 14 21 23 25 29 34 35 37 38 39 40 唅 咤 唅 哭 哺 啜 啜 唵 咯 喘 喘 啼 啼 喃 喃
	43 44 45 46 47 48 50 61 62 65 66 68 80 81 鳴 嗅 嗟 嗟 嗜 嗜 嘔 嘔 嘶 嘶 嚙 嚙 嘯 嘯
52	82 83 89 91 囀 囀 囀 囀
	01 02 04 05 06 07 10 14 27 28 31 37 43 44 47 圈 團 團 團 齋 坏 址 垓 垓 垓 堙 墮 毀 毀
53	50 53 56 62 64 67 68 69 70 71 72 78 80 83 85 墟 壞 墮 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘 壘
	87 90 91 93 94 奎 奢 奠 獎 奩
54	01 04 10 16 17 20 22 24 25 27 28 30 31 33 34 奸 佞 姜 娑 娜 婀 婉 娶 婢 媼 媼 媼 媼 媼 媼
	40 43 45 46 48 52 57 59 60 65 66 68 73 74 75 嬌 嬈 嬈 嬈 嬈 孕 孰 躑 學 宦 宸 寇 寢 寢 寢
55	67 79 82 83 84 88 91 93 94 窈 寶 將 專 對 彪 屣 屎 屎
	02 08 10 21 23 26 30 34 37 40 53 54 62 64 65 屏 屹 岑 峙 峽 崑 崗 崑 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺 嶺
56	71 72 73 76 80 83 91 帛 帶 帷 幘 幘 幘 幘 幘
	02 12 15 24 28 29 30 34 35 39 41 42 43 47 49 廣 廳 廸 弩 彈 彌 彌 彎 彗 彗 彗 彗 徂 徂 徂 徂
57	51 54 57 59 61 64 68 81 82 83 84 89 91 92 徨 付 忸 忸 忸 忸 怙 怙 怙 怙 忪 忪 忪 忪 忪
	01 02 06 07 08 09 10 12 19 21 25 32 33 35 38 悄 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛 悛
58	40 43 44 45 47 54 61 62 63 64 65 66 67 69 70 愴 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄
	71 73 77 80 82 88 92 懷 慄 罹 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄 慄
59	03 04 05 06 08 14 15 17 19 22 25 29 33 34 36 截 戮 戰 戲 扇 扞 扞 扞 扞 扞 扞 扞 扞 扞 扞
	37 38 39 40 41 42 47 48 49 51 52 60 61 64 68 拇 拋 拉 拉 拈 拈 拈 拈 拈 拈 拈 拈 拈 拈 拈
60	70 72 73 74 78 80 83 85 88 91 94 抹 挪 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄 揄
	03 05 19 21 27 28 32 38 42 43 48 53 57 62 66 擅 撻 擲 攀 攀 攪 攪 攪 攪 攪 攪 攪 攪 攪
61	67 69 71 74 76 79 80 82 84 85 86 92 昵 昴 晏 晁 晁 晁 晁 晁 晁 晁 晁 晁 晁 晁
	05 09 10 11 15 16 20 21 25 30 32 38 40 45 56 曖 曰 曳 曷 曷 曷 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶
62	57 58 64 69 70 71 73 74 76 80 81 89 94 栗 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘
	03 05 07 10 11 20 23 24 31 32 38 39 40 49 52 棕 椒 棗 棗 棗 棗 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘
63	56 59 61 66 71 75 76 82 84 92 93 榴 棠 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳
	01 02 03 04 05 06 08 11 13 15 16 21 25 39 51 槩 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁
64	54 59 60 61 63 64 65 70 79 84 85 87 88 89 殷 笔 毳 毫 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳
	05 06 07 11 13 15 17 20 23 24 25 26 28 33 34 泪 洩 衍 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩
65	36 38 41 48 53 55 56 64 66 70 74 75 77 84 85 淞 淨 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺
	87 89 90 91 92 93 94 澗 漿 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲
66	07 23 24 26 28 32 34 38 41 44 45 47 49 53 54 澁 澤 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁
	55 57 58 61 64 65 66 68 69 70 74 76 78 81 83 炯 炬 炸 炯 焰 焉 烽 烽 煥 煥 煥 煥 煥 煥 煥
67	85 86 89 92 93 94 熾 燒 燎 燎 燼 燼
	02 05 07 08 10 20 30 34 36 37 42 45 47 48 49 燿 爛 爭 爬 爲 犁 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝
68	51 52 54 55 56 57 60 61 63 65 71 72 74 76 79 獾 默 猶 獨 獐 獸 獾 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳
	84 85 86 90 瑣 瑪 瑤 璧
69	01 11 16 17 20 35 36 38 40 47 51 52 53 54 55 瓠 甄 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕
	58 59 60 66 67 71 76 77 78 82 90 91 痒 瘡 疾 疾 痺 瘍 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡
70	01 03 11 14 18 19 24 25 30 33 35 39 40 43 44 癩 癩 皓 皓 皴 皴 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪
	45 48 52 53 54 55 59 63 66 68 70 71 76 81 88 睛 辜 眩 眩 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞
71	89 93 磔 磊
	01 06 09 10 11 12 14 16 17 19 20 23 24 25 38 磧 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪
72	39 40 43 47 50 53 55 62 65 66 84 88 89 90 94 稠 粟 稻 穗 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢
	03 05 06 07 10 14 15 18 21 22 23 27 31 32 33 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍
73	34 36 38 39 44 49 55 59 62 75 78 79 80 81 86 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞
	93 94 糺 紆
74	11 15 16 19 20 21 24 26 28 33 37 40 43 44 48 絆 絲 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨
	49 51 52 55 63 65 71 72 82 85 86 90 92 縣 絳 絳 絳 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷
75	05 11 17 19 20 23 25 29 30 38 39 42 44 45 46 籬 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖
	56 59 60 61 65 66 69 70 72 74 76 80 84 85 89 聊 聘 萊 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾
76	90 91 94 脛 脛 脛

区	区点コード
59	03 09 10 11 15 16 20 21 25 30 32 38 40 45 56 曖 曰 曳 曷 曷 曷 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶 朶
	57 58 64 69 70 71 73 74 76 80 81 89 94 栗 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘
60	03 05 07 10 11 20 23 24 31 32 38 39 40 49 52 棕 椒 棗 棗 棗 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘 榘
	56 59 61 66 71 75 76 82 84 92 93 榴 棠 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳 檳
61	01 02 03 04 05 06 08 11 13 15 16 21 25 39 51 槩 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁 藁
	54 59 60 61 63 64 65 70 79 84 85 87 88 89 殷 笔 毳 毫 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳 毳
62	05 06 07 11 13 15 17 20 23 24 25 26 28 33 34 泪 洩 衍 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩 洩
	36 38 41 48 53 55 56 64 66 70 74 75 77 84 85 淞 淨 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺 淺
63	87 89 90 91 92 93 94 澗 漿 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲 滲
	07 23 24 26 28 32 34 38 41 44 45 47 49 53 54 澁 澤 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁 澁
64	55 57 58 61 64 65 66 68 69 70 74 76 78 81 83 炯 炬 炸 炯 焰 焉 烽 烽 煥 煥 煥 煥 煥 煥 煥
	85 86 89 92 93 94 熾 燒 燎 燎 燼 燼
65	02 05 07 08 10 20 30 34 36 37 42 45 47 48 49 燿 爛 爭 爬 爲 犁 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝 狝
	51 52 54 55 56 57 60 61 63 65 71 72 74 76 79 獾 默 猶 獨 獐 獸 獾 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳 玳
66	84 85 86 90 瑣 瑪 瑤 璧
	01 11 16 17 20 35 36 38 40 47 51 52 53 54 55 瓠 甄 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕 甕
67	58 59 60 66 67 71 76 77 78 82 90 91 痒 瘡 疾 疾 痺 瘍 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡 瘡
	01 03 11 14 18 19 24 25 30 33 35 39 40 43 44 癩 癩 皓 皓 皴 皴 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪 盪
68	45 48 52 53 54 55 59 63 66 68 70 71 76 81 88 睛 辜 眩 眩 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞 瞞
	89 93 磔 磊
69	01 06 09 10 11 12 14 16 17 19 20 23 24 25 38 磧 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪 礪
	39 40 43 47 50 53 55 62 65 66 84 88 89 90 94 稠 粟 稻 穗 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢 穢
70	03 05 06 07 10 14 15 18 21 22 23 27 31 32 33 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍
	34 36 38 39 44 49 55 59 62 75 78 79 80 81 86 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞 簞
71	93 94 糺 紆
	11 15 16 19 20 21 24 26 28 33 37 40 43 44 48 絆 絲 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨 絨
72	49 51 52 55 63 65 71 72 82 85 86 90 92 縣 絳 絳 絳 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷 縷
	05 11 17 19 20 23 25 29 30 38 39 42 44 45 46 籬 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖 巖
73	56 59 60 61 65 66 69 70 72 74 76 80 84 85 89 聊 聘 萊 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾 聾
	90 91 94 脛 脛 脛

付録

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

コード	
85	01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 <small>16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29</small> 鵬 葛 祇 麴 鏞 鏞 驩 琢 啄 塚 摑 填 潑 酸 崎 栗 濱 高 吉 梶 梶 柳 榊 撈 撈 撈 撈

区	区点コード
71	01 03 05 07 15 17 20 25 26 29 30 33 34 37 42 隋 脾 腑 腿 勝 膠 膝 脛 臂 臂 臍 臍 臍 臍 44 47 48 50 51 53 54 56 59 67 69 74 77 85 87 臾 舅 與 舍 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 舩 90 93 苞 茱
	02 06 07 11 12 17 23 24 29 33 53 63 80 81 84 苜 荀 茹 茫 茗 苔 莊 茶 莉 董 萼 萬 莠 蔡 蔗 90 麥
	01 02 03 08 10 11 12 14 15 18 20 22 26 27 30 葦 藥 葦 葦 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 蕩 34 35 42 43 45 46 53 54 55 57 58 65 66 68 70 藺 蘆 虔 號 虱 虬 蚯 蛆 蚰 蜈 蛛 蛇 蜥 蜀 71 74 76 78 80 81 82 83 85 87 89 91 93 94 蜃 蜉 蛹 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎 蜎
73	02 04 05 07 09 11 15 17 19 20 21 24 27 33 42 蜎 蠅 螢 螂 蟋 蟀 螿 螿 螿 螿 螿 螿 螿 螿 44 48 54 59 64 65 66 67 70 77 78 83 84 88 94 衞 衾 袂 袂 袂 袂 衿 衿 袂 袂 袂 袂 袂 袂 袂
	01 07 25 30 34 35 36 38 39 42 44 46 47 48 54 襦 襦 襦 訃 訃 訃 訃 訃 詛 詛 詛 詛 詛 詛 56 57 59 61 62 63 64 66 69 71 78 79 80 83 85 誣 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 諄 88 90 93 譚 譚 譚
74	02 05 06 08 09 10 17 18 27 34 37 40 42 45 46 譬 譽 讀 讎 讎 讓 豈 豈 豈 豈 豈 豈 豈 豈 48 51 52 59 61 62 66 68 69 71 76 77 78 90 91 賽 贊 贊 贓 贓 贓 贓 贓 贓 贓 贓 贓 贓 贓
	02 06 09 13 15 16 20 21 22 24 28 31 34 49 50 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 蹉 52 53 59 60 64 66 68 69 76 78 80 84 85 86 87 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳 輳
75	16 17 18 20 21 22 23 24 25 33 36 41 44 45 46 邏 邏 邏 邏 邏 邏 邨 邨 邨 邨 酩 酩 酩 酩 48 54 56 57 71 72 73 76 77 78 79 80 85 87 94 醫 釀 糶 糶 糶 糶 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗 鉗
	02 10 11 15 17 20 24 36 41 43 44 47 51 56 57 錢 鉞 鉞 鉞 鉞 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 鑿 65 69 72 79 83 91 92 闕 闕 闕 闕 陋 陋
76	07 08 10 15 21 24 25 27 36 39 40 43 46 48 53 隘 隕 險 隕 雉 雉 雉 霍 霍 霍 霍 霍 霍 霍 54 55 62 79 83 84 87 88 89 93 94 靱 靱 鞋 竟 頌 頌 頌 頌 頌 頌 頌 頌 頌
	04 05 06 08 11 13 14 18 20 22 27 28 29 33 37 風 颯 颯 颯 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 餽 38 39 44 45 49 57 58 59 62 63 64 65 68 70 71 馥 馥 駝 駝 駝 駝 駝 駝 駝 駝 駝 駝 駝
77	78 79 80 81 83 87 89 91 92 94 骼 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 髀 03 04 06 10 16 17 18 19 20 21 25 26 29 31 35 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚
	45 47 48 52 53 54 55 56 57 59 62 64 65 69 71 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁 鯁
78	72 73 77 84 88 89 蟻 蟻 鴛 鴛 鴛 鴛 02 06 08 11 12 17 20 21 32 34 42 45 47 51 53 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛 鴛
	64 72 76 77 78 82 86 徽 龍 馳 肝 齊 齟 齟
79	01 02 03 堯 檣 遙
	83
80	64 72 76 77 78 82 86 徽 龍 馳 肝 齊 齟 齟
	84

付録



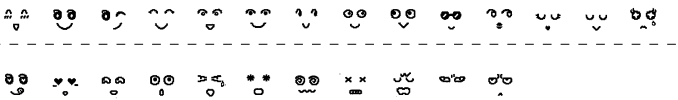
●記号一覧表

!! 注意 !!

記号一覧表の記号と印刷される記号の結果が異なるものがあります。

分類	記号
記述	、 。 , . . : ; 「 」 ? ! - - / \ ~ @ ~ _ § † ‡ 、 ヱ > ヱ // 全々 〳 …… ※ *
省略	、 ヱ > ヱ // 全々 〳 …… # No. & 〒 ㊞ © ® 秘印 済 注 控 検 問 答 祝 休 祭 代 内 直 呼 株 K.K. (有) 助 社 特 学 TEL FAX
カッコ	‘ ’ “ ” () [] [] { } < > 《 》 「 」 『 』 【 】
矢印	→ ← ↑ ↓ ↘ ↙ ↗ ↖ ➡ ➠ ⬆ ⬇ ↔ ↕
○△□☆	○ ● ◎ △ ▲ ▽ ▿ ◆ ◇ □ ■ ☆ ★ ◆ ◆ ♠ ♡ ♥ ♣ ♣
単位	% ‰ μm mm cm m km ft mile cm ² m ² a ha km ² cm ³ m ³ mg g kg t cc ml dl l kl mol ¥ (円) \$ € £ Fr ¢ A V Ω W kW Hz dB H P Å @ ° ' " °C °F ct
算数	+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ≡ ÷ √ ∞ ∧ ∫

分類	記号
生き物	
乗り物	
食べ物	
予定	
暮らし	
学校	
シーズン	

分類	記号	
家族		
干支		
星座		
ギリシャ	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨ Ωαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχ ψω	
欧州	ä ë ï ö ü Ä Æ Ĩ Ö Ü á é í ó ú Á É Í Ó Ú à è ì ò ù À È Ì Ò Ù â ê î ô û Â Ê Î Ô Û ñ Ñ ß Ç ç Œ œ ÿ	
編集	罫	
似顔絵	輪郭	
	顔	

●外枠・表組み一覧表

!! 注意 !!

外枠一覧表の外枠と印刷される外枠の結果が異なるものがあります。

表組み

01		02		03		04	
----	--	----	--	----	--	----	--

外枠

01		16		31		46		61	
02		17		32		47		62	
03		18		33		48		63	
04		19		34		49		64	
05		20		35		50		65	
06		21		36		51		66	
07		22		37		52		67	
08		23		38		53		68	
09		24		39		54		69	
10		25		40		55		70	
11		26		41		56		71	
12		27		42		57		72	
13		28		43		58		73	
14		29		44		59		74	
15		30		45		60		75	

ローマ字変換表

あ	A	I YI	U WU	E	O
か	KA	KI	KU QU	KE	KO
さ	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	NA	NI	NU	NE	NO
は	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	MA	MI	MU	ME	MO
や	YA	I YI	YU	YE	YO
ら	RA	RI	RU	RE	RO
わ	WA	WI	WU	WE	WO
ん	ん N+(Y以外の子音または、アポストロフィー「'」) (例) N+N→ん N+P→んP N+'→ん				
が	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	DA	DI	DU	DE	DO
ば	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	PA	PI	PU	PE	PO
きゃ	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	SHA SYA	SHI SYI	SHU SYU	SHE SHE	SHO SHO
ちゃ	TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
てや	THA	THI	THU	THE	THO
にや	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひや	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みや	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

りや	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	ZYA JA JYA	ZYI JI JYI	ZYU JU JYU	ZYE JE JYE	ZYO JO JYO
ぢゃ	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
くあ	QA	QI QWI KWI	QU QWU KWU	QE QWE KWE	QO QWO KWO
ぐわ		GUI GWI	GU GWU	GUE GWE	GO GWO
つあ	TSA	TSI		TSE	TSO
でや	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ふあ	FA	FI FYI		FE FYE	FO
ふや	FYA	FYI FI	FYU	FYE FE	FYO
うあ	VA	VI VVI	VU	VE VYE	VO
うや	VYA		VYU		VYO
あ	LA	I LI LYI	LU	LE LYE	LO
か	LKA			LKE	
つ	つ LTU 同一の子音+子音=つ+子音 (L、N、X以外有効) 二重子音CHについては、 TCH=つCHに変換。				
や	LYA		LYU		LYO

●おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列準拠キーボード式(67鍵) 文字ボタン48、機能ボタン19
入力状態	JIS配列準拠ローマ字入力 JIS配列準拠かな入力 JIS配列準拠ABC入力 小文字入力、小文字ロック(ABC入力時のみ)、記号入力、コード変換入力 (区点コード・JISコード・ソフトJISコード)
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語/単漢字変換方式 熟語変換辞書 約63,000語(熟語学習容量 約20語) 単漢字変換辞書 約10,000語(単漢字学習容量 約30語)

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	102dot×32dot(6chr×2line)
表示濃度	-5～ふつう～+5(11段階)
インジケータ	25個

■記憶

文章メモリー	約90文字(限定バックアップ付き)
内蔵ファイル	約90文字/2ファイル

■フォント

内蔵文字数	全5,365文字 漢字 JIS第1水準2,965文字 漢字 JIS第2水準1,121文字 漢字 その他29文字 ひらがな・カタカナ192文字 英数字・記号・その他
内蔵フォント	ビットマップフォント 明朝体 : 漢字書体・かな書体・英数書体 ゴシック体 : 漢字書体・かな書体・英数書体 ハッピー体 : かな書体 スク립トBR体 : 英数書体

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3(7段階)
ヘッド構成	薄膜サーマルヘッド(64dot、180dpi)
テープ幅検出	Pテープ規格検出孔対応(5種検出)
テープカートリッジ	Pテープ規格ワンタイム・テープカートリッジ、たるみ・逆転防止機構付、耐摩擦PRO印刷式、4・6・9・12・18mm幅
カッター	オートカッター

■印刷機能

文字構成	5段階5種
	P字 16×16dot (6ポイント相当)
	S字 24×24dot (10ポイント相当)
	M字 32×32dot (13ポイント相当)
	L字 48×48dot (19ポイント相当)
	G字 60×60dot (24ポイント相当)

■電源、その他

主電源	AC100V(同梱ACアダプタAC0615J使用のこと)
補助バッテリー	単3形アルカリ乾電池×6
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする
寸法・重量	SR220 : 約178W×213D×56H(mm) 約560g(電池、テープカートリッジを除く)
	SR52 : 約178W×190D×56H(mm) 約545g(電池、テープカートリッジを除く)
同梱品	試用PROテープカートリッジ(12mm幅) ACアダプタ(AC0615J) 取扱説明書 保証書
オプション	PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングキット(RC15) ヘッド・クリーニングテープ(SR18C) トリマー(RT36W) オートトリマー(RTA24) -halfカッター(RH24) システムトランク(SR9BTN) システムバッグ(SR8B)

■使用条件

温度環境	動作時 10℃～35℃ 保存時 -10℃～55℃
湿度環境	動作時 30%～80%(非結露) 保存時 5%～80%(非結露)

記号

☒(印刷不可行頭マーク)	24、50
← → ↵ (カーソルボタン)	23
Ⓞ(罫入力記号)	69
1 2 (行頭マーク)	24、50
┌(全角スペース)	40
┐(半角スペース)	40
◀(フルメモリーマーク)	24
▶(文字モード指定マーク)	24、60

英数字

2桁数字(記号)	57
8mmビデオ(定長印刷)	61、65
A4ファイル(定長印刷)	61、65
ABC入力	39
ACアダプタ差込み口	20
B5ファイル(定長印刷)	61、65
CDケース(定長印刷)	61、65
FD・MO(定長印刷)	61、65
MD(定長印刷)	61、65
Ⓞ OFF	23
VHS(定長印刷)	61、65





あ

アイロン転写テープ	88
アイロンラベル	88
後揃え(割付け)	62、68
印刷	22
印刷	44
印刷濃度(環境設定)	78、79
インジケーター	24
上カバー	21
上カバーつまみ	20
英数字	39
英数書体(書体)	64、70
エラーメッセージ	89
オートトリマー	11
オート・パワーオフ	30
送り/カット	22
送りカット(テープ送り)	31
おまかせフォーマット(文字サイズ)	62、67
終わり?(機能)	59
段落スタイル	63
文章書式	61
文字モード	64

音楽テープ(定長印刷)	61、65
-------------------	-------

か

カーソル	24、48
~の位置(機能)	58
カーソルジャンプ	23
カーソルボタン(← → ↵)	23、48
改行	50
改段落	23、52
顔(似顔絵)	42
鏡文字印刷(文章書式)	58、61、66
確定文字	24
影文字(飾り字)	64、70
飾り字(文字モード)	58、64、70
カタカナ	35
カットマーク	65、66
かな書体(書体)	64、70
かな入力	35
画面	24
環境	22、78
環境設定	78
~メニュー一覧	78
漢字	37
漢字書体(書体)	64、70
漢字変換表	97
記号	22
記号	41
~一覧表	103
行	50
強調(飾り字)	64、70
行頭マーク(1 2 ・☒)	24、50
極少(余白)	61、66
均等(文字サイズ)	62、67
空白	40
区点コード	77、97
クリーニングテープ	95
罫入力記号(Ⓞ)	69
候補(漢字変換)	37
コード入力	77
固定フック	21
小文字ロック	23、39
さ	
サイズ(文字サイズ)	58、62、67
削除	22
削除	49

システムトランク	11
システムバック	11
指定範囲(機能)	58
自動(英数書体)	64
自動(かな書体)	64
自動カット(環境設定)	78
自動カット「しない」	80
 シフト	23
地紋印刷(文章書式)	58、61、65
斜体(飾り字)	64、70
仕様	109
消去	22、49、54
上質紙ラベル	88
初期化	83
初期設定値	81
 書式	22
書体(文字モード)	58、64、70
白抜き(飾り字)	64、70
白抜き影(飾り字)	64、70
伸縮ラベル	88
 スタイル	22
スペース	40
全角スペース(□)	40
 選択実行	23
全文消去(消去)	49
操作パネル	22
促音	36
外枠(外枠・表組)	63、69
外枠・表組(段落スタイル)	58、63、69
～一覧表	107

た


濁音	36
たて書き(縦・横)	56、62、68
 縦横	22
縦・横(段落スタイル)	58、62、68
段落	52
段落消去(消去)	54
段落スタイル	58
～メニュー一覧	62
ディスプレイ	20、24
定長印刷(文章書式)	58、61、65
テープ送り	31
テープカートリッジ	28、88
～をセットする	28
テープカートリッジケース	21
テープ確認窓	20
テープ通路	21
テープ出口	21
テープ幅	50、67

テキスト画面	24
デモ印刷	85
電源	
～を入れる	30
～を切る	46
転写テープ	88
電池	26
電池カバー	21
電池ケース	21
同梱品	10
透明つや消しラベル	88
トリマー	11

な

中揃え(割付け)	62、68
似顔絵(記号)	42、106
 似顔絵	23
入力文字一覧表	96
ネガ文字	24
熱収縮チューブ	88

は

ハーフカッター	11
半角スペース(□)	40
反射ラベル	88
半濁音	36
ハンドル	21
表組み(外枠・表組)	63、69
表示濃度(環境設定)	78、79
ひらがな	35
ファイル	22、74
消去	76
登録	75
～メニュー一覧	74
呼出	76
ふせん紙ラベル	88
ふつう(飾り字)	64、70
ふつう(文字間)	64、71
ふつう(余白)	61、66
フルメモリーマーク(◀)	24
 プレビュー	22、43
プレビュー	22、43
文章	
～を消去する	49
～をファイルする	75
文章書式	58
～メニュー一覧	61
ヘッド・クリーニングキット	11、94
ヘッド・クリーニングテープ	11、95
別売品	11

変換メニュー	23、37
保存値	81
保存値(環境設定)	78
～復元	82
～変更する	82

ま

前揃え(割付け)	62、68
マグネットテープ	88
密着(文字間)	64、71
ミニDV(定長印刷)	61、65
無変換	23、35
メニュー一覧	
環境設定	78
段落スタイル	62
ファイル	74
文章書式	61
文字モード	64
モード	22
文字	
～を削除する	49
～を挿入する	49
～を入力する	48
文字間(文字モード)	58、64、71
文字サイズ(段落スタイル)	58、62、67
文字入力	34
文字変換/コード変換	23
文字ボタン	23
文字モード	58
～メニュー一覧	64
文字モード指定マーク(▶)	24、60

や

夜光ラベル	88
有効範囲(機能)	60
有効範囲は？	
段落スタイル	63
文字モード	64
拗音	36
よこ書き(縦・横)	56、62、68
余白(文章書式)	58、61、66
読み短縮	23、38

ら

輪郭(似顔絵)	42
ローマ字入力	35
ローマ字変換表	108

わ

割付け(段落スタイル)	58、62、68
割付け(割付け)	62、68

●アフターサービスについて

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご希望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店までお持ちください。

なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、「テブラ」取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）

ネットクのパートナー

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話・PHSをご使用の場合は、以下をご利用ください。

お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234

名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654

福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日（月曜日～金曜日） 午前9時～午後5時30分

■最新情報については

「テブラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>

■別売品のお求めでお困りのときは

取扱説明書、カートリッジなど別売品のご購入に際し、どこで、どの様にして購入したら良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または「テブラ」取扱店、または下記へお問い合わせください。

株式会社キングジム 〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

札幌 TEL 011-811-0593

名古屋 TEL 052-935-4038

仙台 TEL 022-236-4110

大阪 TEL 06-6263-1654

さいたま TEL 048-651-0198

広島 TEL 082-291-8458

本社 TEL 03-3864-1234

福岡 TEL 092-413-3977

横浜 TEL 045-212-3280

株式会社キングビジネスサポート

TEL 03-3864-5646

FAX 03-3864-5647

116 付録

「テプラ」 PRO SR220/SR52 取扱説明書

2006年 8月 第3版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田2丁目10番18号

SR220/SR52

取扱説明書



・お問い合わせ

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

受付時間: 平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp/>